

30

years
progress

The Osaka Community Foundation
30 years history

財団法人 大阪コミュニティ財団 設立趣意書

産業、経済の分野において世界有数の大国となった我が国は、21世紀に向け、学術、文化をはじめ、あらゆる分野で大きく飛躍していくことが、喫緊の課題となっております。

折りしも、国民の意識の上では、ゆとりと豊かさを実感しうる生活を享受したい、との願望が急速に高まり、企業社会においても「良き企業市民」として、フィランソロピー（社会貢献活動）に積極的に参加しようとの意欲が盛り上がりつつあります。

しかしながら、いざ社会貢献活動を行おうとするとき、具体的に何をすればよいか、どうすれば役立つかといった戸惑いもあり、また、単独で財団を設立するには、資金、人材の制約が大きいとの悩みもありません。

こうした現状に鑑み、我々は、企業等の社会貢献活動への志を支援する仕組みとして、ここに、大阪コミュニティ財団という新しいタイプの財団の設立を決意しました。

この財団のコミュニティという言葉には、二つの意味合いが込められています。一つは、「地域社会」であり、いま一つは、「基金の集合体」ということでもあります。つまり、大阪コミュニティ財団は、多数の企業等の志に裏打ちされた財産の拠出に基づき、多数の基金を設け、その志を最大限に尊重しつつ、地域社会の多様なニーズに対応した社会貢献活動を行う財団であります。

以上のような認識のもと、我々は、主として大阪府およびその周辺地域において、企業等の社会貢献活動による、科学技術の振興、芸術文化の向上、国際交流の推進等、公益に資する事業を行うものに対する助成、または顕彰、学生または生徒に対する奨学金の支給等を行い、もって企業等が良き企業市民としての社会的使命の達成と、地域社会の福祉の増進に寄与することを目的として、ここに「財団法人大阪コミュニティ財団」を設立しようとするものであります。

目 次

設立趣意書

目 次

ご 挨拶	1
祝 辞	2
寄 稿	
30周年を迎えて	3
設立30周年によせて	4
コミュニティ財団とは	5
助成方法について	6
基金設置について	8
30年のあゆみ	11
設置年度別基金一覧	21
基金設置者からのメッセージ	43
助成事業	49
助成団体からのメッセージ	225
選考委員からのメッセージ	231
設立者名簿	235
歴代役員・評議員の就任期間・現役員名簿・現選考委員名簿	236
基本財産の推移	241
賛助会員	242
役員等名簿	243
編 集 後 記	

ご挨拶



公益財団法人 大阪コミュニティ財団

理事長 宮城 勉

大阪コミュニティ財団は、わが国最初のコミュニティ財団として1991年11月12日に設立され、このたび30周年を迎えることができました。

設立時9基金からスタートした基金数は、この30年間、全国各地の個人や企業・団体の皆様から浄財をお寄せいただき、2021年9月末には272基金、寄付受入れ累計額は43億800万円に達しました。これらの基金から、地域社会の振興や発展のため活動を行っている全国のNPO団体等に、これまで延べ3,371件、累計15億7,500万円の助成を行ってまいりました。

このように当財団が順調に運営できていますのは、ひとえに当財団の活動趣旨にご賛同をいただき、寄付をお寄せいただきました基金設置者の皆様はじめ、財団の活動理念をご理解いただき、お力添えを賜っております賛助会員の皆様方の温かいご支援によるものであり、心から厚く御礼を申し上げます。また、財団の運営にご尽力賜っております評議員、理事、監事、及び会計監査人ならびに選考委員の皆様方に深く感謝を申し上げます。

さて、当財団は2010年3月に内閣府から公益認定を受け、公益財団法人として社会的信頼性をさらに向上させることができました。これにより、基金設置数も順調に増加するとともに、助成先については、大阪・関西はもとより、北は北海道利尻島から南は沖縄県宮古島に至るまでになりました。また、青少年の育成や地域文化の振興、社会福祉の増進等コミュニティが持つ様々な課題解決に向けて、きめ細かな事業を展開されています地域の非営利団体のみならず、開発途上国の学校建設、子どもの教育など国際的な援助活動に取り組むNPO法人にも支援の輪を広げてまいりました。

このたび、財団設立30周年にあたり、設立から現在までの活動を振り返り、今後の更なる発展を祈念して、「30年の歩み」を発行することにいたしました。

基金設置者はじめご関係の皆様にはこれまでのご厚情に深く感謝申し上げますとともに当財団が地域社会の多様なニーズに応える財団として、さらに発展するよう努めてまいり所存であります。今後とも、皆様の一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。発行のご挨拶とさせていただきます。

祝 辞



大阪商工会議所
会 頭 尾 崎 裕

このたび、大阪コミュニティ財団が設立30周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

大阪コミュニティ財団は、当時の大阪商工会議所の佐治敬三会頭や小林公平副会頭はじめとするご関係の皆様のご熱意と先見性のもと、1991年11月にわが国最初のコミュニティ財団として設立されました。

以来、基金寄付者の多様なお志を尊重され、全国の非営利団体等の活動を積極的に支援し、地域社会の活性化に大いに寄与してこられました。この30年間で、43億円におよぶ寄付金を集められ、助成額累計15億7千万円を超える財団に成長されました。ご同慶の至りであります。

財団の設立以来、基金を出捐いただいた皆様、財団運営を支援いただいております賛助会員の皆様はじめ、ご関係の皆様に対し、改めて深く敬意を表する次第であります。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大が、我々のビジネスや生活に、数々の制約と変化をもたらしています。この社会変化にともない生じる課題に対して、行政、福祉団体そしてボランティアの方々が様々な対応をされています。これからも、コロナ後の新しい社会における追加的課題を含めて、その影響を大きく受ける人たちに寄り添い、必要な支援の手を差し延べることが重要となります。

その支援の一つとして、市民の自主的な活動によるNPO団体などが果たす役割が、これまで以上に期待されています。地域に根差し、人と人との繋がりを基盤に、地域や社会の課題解決に迅速に取り組み、より豊かな社会を実現していただきたいと思えます。

このような観点から、NPO団体等を支援する貴財団への期待も、今後益々大きくなるものと思われます。大阪商工会議所としましても、引き続き貴財団の運営を全面的にバックアップしてまいります。

最後になりましたが、大阪コミュニティ財団の今後の益々のご発展と、関係者の皆様方のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。



30周年を迎えて

公益財団法人 大阪コミュニティ財団
評議員会長 小嶋 淳司

大阪コミュニティ財団は、大阪商工会議所が1億円を拠出して設立し、その後大阪府、大阪市から各2,500万円の出捐をいただいて以来、基金設置者の皆様はもとより、賛助会員の皆様、歴代役員の皆様など多くの方々に支えられて今日まで順調に運営されてまいりました。

私は2010年7月に評議員会長に就任しましたが、寄付者のお志を最大限に尊重し、地域社会に貢献するという財団の活動理念が理解され、基金設置数、寄付額とも順調に推移してまいりました。基金設置者のお志も動物保護や市民スポーツの振興支援、小、中学校の教材購入など教育環境整備の支援、交通遺児の高校進学や障がいをもつ生徒の大学進学奨学金の支給など多岐にわたるようになりました。また、親族共同での基金設置や、従業員に広く寄付を募り、集まった金額と同額を会社が拠出して定期的に追加寄付されるなど、様々な形式の基金が設置されるようになりました。さらに、近年では遺言によって財産の一部を当財団に託していただく遺贈のお申し出もいただいています。

このように、当財団が順調に発展してきましたのは、基金を設立された個人や企業・団体の寄付に寄せる志や思いを十分に尊重し、専門家による厳正な選考のもと、それに応える活動を行っているNPO等非営利団体を見出し、助成金を支給するという活動を長年にわたって地道に積み重ねてきたことにあります。こうした活動内容が基金設置者にフィードバックされることにより、自身の基金が、社会にどのように生かされているか、目に見える形で確認できるのも大きな要因だと思います。今後とも、この努力を継続、発展させ、地域社会のお役に立てる財団としてさらなる発展することを願っております。

ご関係の皆様方におかれましては、何卒、倍旧のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



設立30周年によせて

公益財団法人 大阪コミュニティ財団
選考委員長 岩見和彦

私たちが生きる世界はますます複雑化し、これまでの地図は役に立たなくなり、みんな「迷子」に。自分探しに疲れた迷子たちは、今度は居場所探しに躍起になり、その分社会性や公共性への「感度」は下がりっぱなし。——私が大阪コミュニティ財団とのご縁をいただいたのは、そうした時代の閉塞状況を愚痴っぽく呟くことの多くなった、退職を翌春に控えた時でした。その後、実際に事務局スタッフと委員の皆さんと協同して選考作業などに携わるなかで、実に多くの方たちが「問題」を感受し、課題解決に取り組もうとされている現実と、その「熱量」のすごさを体感しました。このご縁がなければ、本当は私自身が低感度な「迷子」だったことに気づかなかったかもしれません。

選考に関わって8年。基金設置者のお心と取組団体の熱意をしかと繋ぐ（縁を結ぶ）ことがミッションだと自らに言い聞かせては、「申請書」と「対話」してきたつもりです。でもいざ採択／非採択を判断するとなるとやはり大変です。書き込まれた「回答」のリアリティを探りつつ、各記載内容が相互にしっかり関連付けられ、事業の「全体像」がクリアに描けているか、できるかぎり厳密に評価します。ただ新規の意欲的な企画については、本助成が文字通り初めの一押し（推し）になればとつい期待をかけたくなります。かたや、継続申請については（大規模組織の申請の場合もそうですが）基金の額と期間には限りがあるので、助成依存・マンネリ体質に陥っていないかなど、厳しい見方で臨むことにしています。

寄付者のご意向を受けて、まず選考者と応募者とで（申請書を介して）対話を行い、分かり得た中身を審査基準に照らして評価し助成の可否を決め、その助成の成果は報告され相互評価にさらされる。こうした大変シンプルなコミュニケーションを愚直に積み重ねていくことが肝なのだ。——これが、財団の次なる30年への引き継ぎに際して私が申し上げられることすべてのような気がします。改めてこれまで財団と関係者の皆様からいただいたご縁に深く感謝いたします。

コミュニティ財団とは

大阪コミュニティ財団は、1991年（平成3年）11月通商産業大臣（現・経済産業大臣）の設立許可を得て誕生したわが国初のコミュニティ財団です。個人や企業の社会貢献活動を手軽にかつ効果的に実行するため、米国で普及した方式を導入して、大阪商工会議所が設立したものです。

2010年3月1日に内閣府の認定を受けて公益財団法人に移行しました。

寄付者の「志」実現を支援

コミュニティ財団は、寄付者ごとに設置された独立の基金を一括して管理・運営するわが国では全く新しいタイプの財団です。当財団を活用されますと、寄付者は基金に自由に名前を付けることができますので、自ら財団を持つと同じ効果になります。

また、その基金からの助成分野について、寄付者は財団にその「お志」を託することができます。

このようなコミュニティ財団の仕組みは、1914年に米国クリーブランドの銀行家であり弁護士でもあったフレデリック・ゴフ氏によって創案されました。

地域のための多目的財団

大阪コミュニティ財団では市民や企業・団体など寄付者の皆さんの志を大切にしつつ、お志の分野に応じた助成を行い、地域の文化や福祉の向上に貢献しています。

①寄付者の基金が永遠に残る

寄付者が設置した基金は、寄付者が希望する名称をつけて財団が運用管理し、その運用収益をもって、地域や分野のニーズに適合した公益事業に助成を行います。

②多目的の財団

社会の公益にかなうものであれば、助成対象事業は限定されません。寄付者の希望を尊重した助成を行うため、財団は基金の数だけ事業目的を持つことになります。

③公益性が高い

評議員、理事をはじめ監事、選考委員は公共団体や公益法人の代表者、大学教授など公的立場にある有識者によって構成され、財団運営の公益性は十分に確保されています。

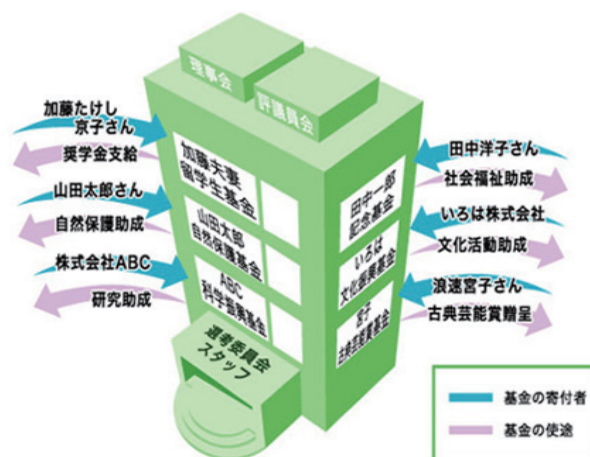
目的と事業

大阪コミュニティ財団の目的は、定款第3条・第4条において次のように定められています。

「本財団は、一般市民や企業等の社会貢献への志を尊重し、最大限に生かすため、公益に資する事業を行うものへの助成、学生等への奨学金の支給等を行い、地域社会の公益の増進に寄与することを目的とする」。

このような目的を達成するため、基金の志を尊重しつつ、次のような事業を行います。

- ①学術・研究の振興、芸術・文化の振興、環境の保護保全、国際交流の推進、青少年の健全育成、社会教育の充実、地域社会の活性化、社会福祉の増進等公益に資する事業を行うものへの助成または顕彰
- ②学生又は生徒等への奨学金の支給等
- ③一般市民や企業等の社会貢献活動を支援し、日本社会の寄付文化を醸成するための普及啓発
- ④前各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成するために必要な事業



※当財団の特色は、マンション型の財団であるということです。つまり各基金には好きな名前を付けることができることから、いわばマンションの各部屋に表札があるというイメージです。当財団は、マンションの管理人のような役割を担っているとと言えます。

助成方法について

大阪コミュニティ財団は、個人や企業、団体からの「志」のこもった寄付を名前を付けたかたちでお受けし、その志を最大限に尊重しつつ、地域社会の多様なニーズに対応した社会貢献活動を行う財団です。

この使命を達成するために、大阪・関西はもとより、全国あるいは海外の公益に資する事業を行う非営利団体に対する助成、及び学生や生徒に対する奨学金の支給等を行います。

助成できる団体、事業

当財団が助成する対象は、「公益に寄与する事業を行う」非営利団体等です。なお、団体は法人格の有無を問いません。また、国公立の研究、教育、医療、福祉等の機関も含まれます。

具体的には、次のような事業です。

- 学術・研究の振興支援
- 学校教育・社会教育の教育プログラムの助成
- 青少年の健全育成の支援
- 芸術・文化の振興、活動の支援
- 国際交流推進活動の支援
- 環境の保護、保全活動の支援
- 障がい者、高齢者、子育て等社会福祉の増進を図る支援等

なお、次のような団体・事業には助成できません。

- 営利を目的とするもの
- 政治や宗教上の活動を目的とするもの
- 基金寄付者と特別な利害関係にあると判断される団体、事業

- 活動実績が1年に満たない団体
- 債務の弁済や基本財産の出捐を目的とするもの
- 個人（ただし、奨学金の場合は個人も助成の対象となります。）

助成の申し込み

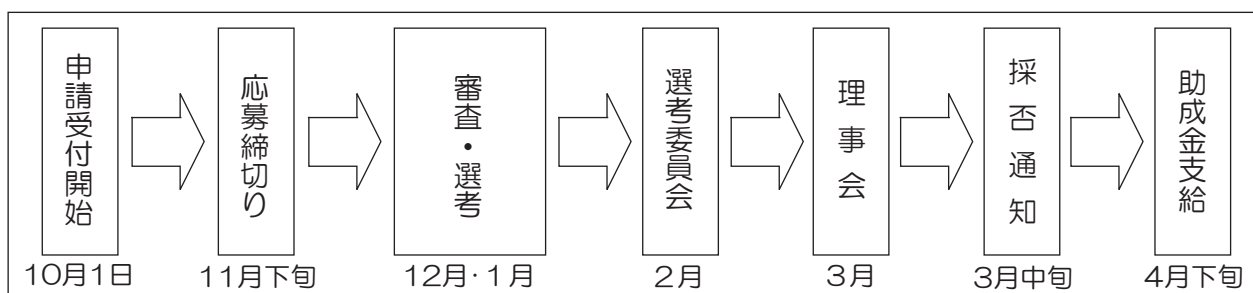
助成を希望される方は、所定の「助成申込書」に記載のうえ、必要書類を添えてお申し込みください。詳細につきましては、毎年10月に発行しております「申請者のためのガイド」もしくは、当財団のホームページにてご確認ください。

財団のホームページ <http://www.osaka-community.or.jp>

助成先の選考

助成先は、有識者で構成する選考委員会で選考し、理事会で決定します。選考結果につきましては、申請者全員に文書でご通知します。なお、申請から選考のプロセスは、下記図をご参照ください。当財団では、寄付者のお志によりほとんどの基金の助成分野が指定されています。また、助成希望される年度に事業分野に該当する基金がない場合は助成できません。

<助成先選考のプロセス>



事業実施の結果報告

助成金は助成対象事業以外の目的に使用できません。採択された助成対象事業が中止する場合には、「中止届」を提出いただき、助成金は返還していただきます。また助成対象事業終了後、3カ月以内に事業及び決算報告書を提出していただきます。

基金設置について

<基金の設立、寄付の申込みについて>

○基金はいくらからでも

基金を設ける寄付額は、いくらからでも結構ですし、いつでも基金を積み増しすることができます。また、「遺贈」の受け入れも致します。

○基金のタイプの選択

当財団では寄付者の意向に沿った助成活動を行えるよう、基金にいくつかの種類を設けており、寄付者は自由に選択することができます。

<基金の種類による分類>

1. 永続基金：元本を取り崩さず、運用収益をもって助成を行う基金
2. 期間基金：元本と運用収益の全額をもって一定期間内に助成を行う基金

<助成目的別による分類>

1. 助成基金：社会貢献活動を行う団体等の事業に助成を行う基金
 - ①一般基金：助成先を財団に一任するもの。
 - ②分野指定基金：助成先の分野を指定するもの。
 - ③地域指定基金：助成先を特定の地域内に限定するもの。
 - ④関与基金：助成先の選考に際して、基金寄付者が希望を述べるができるもの
(寄付額が1千万円以上の場合)
2. 運営基金：財団の運営、事業費に充当するもの。

○基金にお名前をつけてください

基金には、基金の用途や目的を表わした名前を付け、設置する基金にお志を託すことができます。また、匿名にすることも可能です。

○申し込み手続きについて

当財団に基金設置のお申し込み頂く際には、寄付額や寄付者の氏名等を記入した「基金寄付申込書」と基金の名称や基金の種類等を記入した「基金に関する希望事項」をご提出下さい。
(申込用紙は、ホームページからダウンロードすることが可能です。事務局でも準備しています。)

○事務局にまずご連絡を

基金を作りたい、いつか作ってみようとお考えの方は、事務局にご相談下さい。当財団に設置いただいている基金の事例や設置後のフォローアップ内容について説明させていただきます。

<基金の運用報告、助成先、税金について>

○基金の運用について

基金は、銀行、信託銀行への預金、国公債等の購入など安全かつ有利な運用を心がけています。基金管理の必要経費として、財団は、年一回、運用収益（利息）の中から基金残高の0.5%相当額をいただきます。従って、助成のための財源は、運用収益から必要経費を除いた残額となります。なお、各基金の運用状況については、年一回、6月頃に寄付者に個別に報告します。

○助成先について

基金による助成活動は、学術・研究の振興、芸術・文化の向上、環境の保護保全、国際交流の推進、社会福祉の増進等公益に資する事業を行うものに対する助成、または顕彰、学生や生徒に対する奨学金の支給等であり、公益に役立つものであればほとんど制約はありません。助成の対象地域は、定款で「主として大阪府及びその周辺府県を中心に日本国内の団体等に対して」と定めており、日本国内に拠点を有する団体の事業であれば、助成を行う地域を限定されるものではありません。日本全国、また海外も対象になります。

○ご寄付に対する税金の取り扱い

大阪コミュニティ財団は、内閣府から公益財団法人の認定を受けていますので、当財団へのご寄付は、所得税、法人税などの控除を受けることができます。

個人のご寄付

<所得税>

所得控除と税額控除のいずれかを選択できます。

●所得控除

$$\left(\begin{array}{|c|} \hline \text{所得金額} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{所得控除額} \\ \hline \end{array} \right) \times \begin{array}{|c|} \hline \text{税率} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{税額} \\ \hline \end{array}$$

(寄付金額 - 2000円)
ただし、所得金額の40%が限度

●税額控除

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{税額} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{税額控除額} \\ \hline \end{array}$$

〔税額控除対象寄付金〔*1〕-2000円〕×40%
*1: 寄付金支出額が、総所得金額等の40%を超える場合には、40%に相当する額。
*2: 控除対象額は、所得税額の25%が限度

寄付金控除を受けるには、所轄税務署で確定申告を行ってください。その際、当財団が発行した領収書（寄付金受領証明書）の添付が必要となります。なお、税額控除を選択される場合は、「税額控除に係る証明書」の写しの添付も必要となります。

<住民税>

所得税の控除対象となる寄付金のうち、条例の指定を受けた団体に対する寄付金は個人住民税の税額控除を受けることができます。当財団は、大阪府および大阪市の指定を受けています。詳しくは寄付者の住所地の自治体にお問い合わせください。

<相続税>

ご遺族の方が相続により受け継いだ財産を相続税の申告期間内にご寄付頂いた場合、その財産には相続税が課されません。相続税の申告期限は、通常は、故人がお亡くなりになった日の翌日から10ヶ月以内です。

詳しくは税務署及び税理士等にご相談されることをお勧めします。

<遺贈>

遺言によって、自分の遺産を特定の団体等に分け与えることを「遺贈」と言います。遺贈により寄付した財産は相続税の非課税財産となります。

遺贈の場合、遺言信託を扱っている銀行・信託銀行などの窓口にご相談されることをお勧めします。

法人のご寄付

<法人税>

法人が支出する寄付金は、法人税について、その法人の資本金等の額、所得の金額に応じた一定の限度額までが損金に算入されます。

このとき、公益法人に対する寄付については、一般寄付金の損金算入限度額とは別に、別枠の損金算入限度額が設けられています。

A：公益法人への寄付金の特別損金算入限度額

$(\text{資本金等の額} \times 0.375\% + \text{所得金額} \times 6.25\%) \times 1/2$

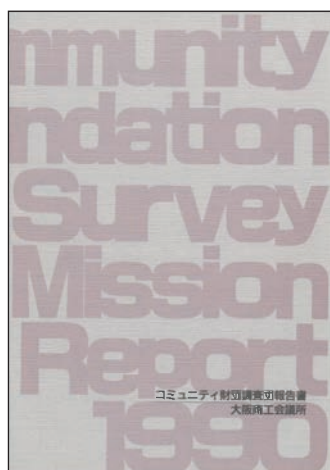
B：一般寄付金の損金算入限度額

（普通法人の場合。Aの限度額を超えた分を含む）

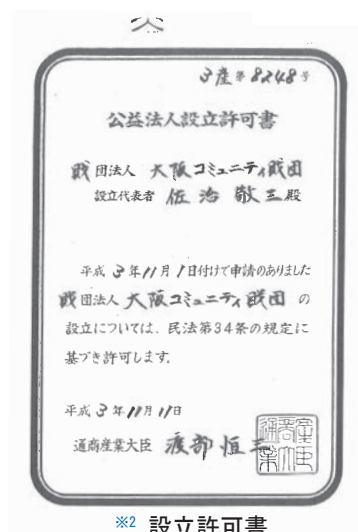
$(\text{資本金等の額} \times 0.25\% + \text{所得金額} \times 2.5\%) \times 1/4$

30年のあゆみ

年	月・日	大阪コミュニティ財団の歩み	社会の出来事
平成2年 (1990)	5月11日	大阪商工会議所、文化税制推進特別委員会を設置	国際花と緑の博覧会、大阪で開催 (4月1日～9月30日)
	5月29日	文化税制推進特別委員会内にコミュニティ財団研究会を設置	
	7月1日	大阪商工会議所、コミュニティ財団調査団を米国に派遣	礼宮文仁殿下、紀子様とご結婚 (6月29日)
	9月26日	大阪商工会議所、「文化促進税制等に関する要望」を建議	東西ドイツ統合 (10月3日)
	11月26日	「コミュニティ財団調査団報告書」発行 ※1	天皇陛下、「即位の礼」 (11月12日)
平成3年 (1991)	1月24日	「大阪コミュニティ財団設立構想」発表	湾岸戦争始まる(1月17日)
	2月25日	大阪コミュニティ財団設立準備委員会設置	
	5月15日	日米シンポジウム「社会貢献活動と民間の役割」開催	雲仙普賢岳大火砕流発生 (6月3日)
	10月31日	設立発起人会開催	経済企画庁「いざなぎ景気超える」(9月24日)
	11月12日	財団法人大阪コミュニティ財団設立 (通商産業大臣許可) ※2 (財団事務局を大阪商工会議所内に設置)	
	12月5日	第1回通常理事会開催、設立記念パーティ開催	ソビエト連邦消滅(12月26日)

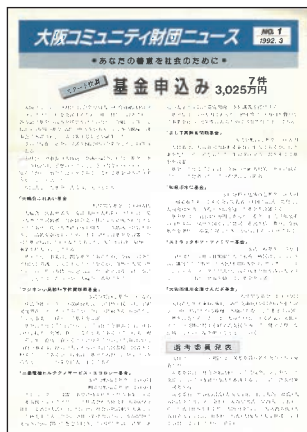


※1 コミュニティ財団調査団報告書

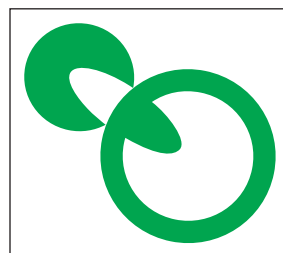


※2 設立許可書

年	月・日	大阪コミュニティ財団の歩み	社会の出来事
平成4年 (1992)	3月4日 3月5日 3月26日 3月31日 8月4日 10月5日 12月8日 12月14日	コミュニティ財団ワークショップ開催 日米英三極国際シンポジウム開催、基金申し込み第1号記者発表 第1回評議員会・第2回通常理事会 開催 「大阪コミュニティ財団ニュース」第1号発行 ※3 シンボルマーク決定 ※4 第1回選考委員会 開催 フィランスロピーセミナー 開催 初の助成先の決定 (22件、13,180,660円)	アルベールビル冬季オリンピック (2月8日) パラリンピック (3月25日) 開幕 東海道新幹線「のぞみ号」運転開始 (3月14日) 育児休業法施行 (4月1日) バルセロナオリンピック (7月25日) パラリンピック (9月3日) 開幕 学校週休2日制スタート (9月12日)
平成5年 (1993)	3月18日	企業のための社会貢献実務セミナー開催	サッカーJリーグ発足 (5月15日) 皇太子殿下、小和田雅子さんとご結婚 (6月9日) EU・ヨーロッパ連合発足 (11月1日)
平成6年 (1994)	3月16日 6月10日	社会貢献活動講演会 寄付金累計額5億円を突破	リレハンメル冬季オリンピック (2月12日) パラリンピック (3月10日) 開幕 日本人初の女性宇宙飛行士向井千秋氏宇宙へ (7月8日) 関西国際空港開港 (9月4日) 大江健三郎氏、ノーベル文学賞受賞 (10月13日)
平成7年 (1995)	3月23日	ボランティア活動推進シンポジウム開催	阪神・淡路大震災発生 (1月17日) 地下鉄サリン事件 (3月20日) マイクロソフト「ウィンドウズ95」日本版発売 (11月23日)

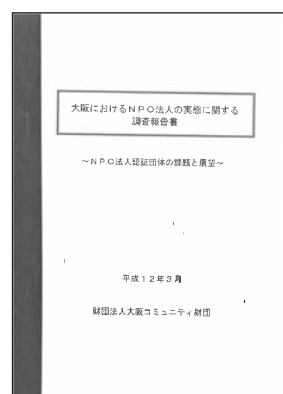


※3 大阪コミュニティ財団ニュース第1号



※4 シンボルマーク

年	月・日	大阪コミュニティ財団の歩み	社会の出来事
平成8年 (1996)	3月26日 11月6日 ～7日	社会貢献活動セミナー「寄付と相続」開催 創立5周年記念事業実施 (5周年記念式典・記念シンポジウム・パネル展・ 「コミュニティ財団のすべて」の発刊)	アトランタオリンピック(7月19日)パラリンピック(8月16日)開幕 初めての「海の日」(7月20日) 政府、初の「高齢社会白書」 発表(10月29日)
平成9年 (1997)	7月1日 10月	財団のホームページを開設 財団ニュース第10号発行	消費税5%に引き上げ(4月1日) 地球温暖化防止京都会議開幕 (12月1日)
平成10年 (1998)	3月18日 12月14日	社会貢献セミナー「企業の社会貢献はこう変わる」開催、基金設置者と賛助会員との交流懇談会 開催 社会貢献セミナー「NPO活動の歩みと展望」 開催、基金設置者と賛助会員との交流懇談会開催	長野冬季オリンピック(2月7日) パラリンピック(3月5日)開幕 「明石海峡大橋」開通(4月5日) サッカーW杯フランス大会に 日本が初出場(6月10日) 特定非営利活動促進法(NPO 法)施行(12月1日)
平成11年 (1999)	1月28日 12月6日	寄付金累計額10億円突破 社会貢献セミナー「これからの企業の社会貢献 活動～NPOとの協働を中心に～」開催	日銀実質ゼロ金利政策決定 (2月12日) 失業者が初めて300万人の大 台に(3月30日) コンピューター2000年問題 で警戒(12月31日)
平成12年 (2000)	6月5日 10月13日 12月6日	「大阪におけるNPO法人の実態に関する調査(概要)」発表※5 「助成財団の管理と運営～初任者研修～」開催 社会貢献セミナー「地域文化の担い手～アマチ ュアとボランティアとNPO～」開催、基金設 置者と賛助会員との交流懇談会開催	「ハッピーマンデー」スタート (1月10日) 介護保険制度スタート (4月1日) 金融庁発足(7月1日) 伊豆諸島三宅島噴火(7月8日) 2000円札発行(7月19日) シドニーオリンピック(9月 15日)パラリンピック(10 月18日)開幕



※5 「大阪におけるNPO法人の実態に関する調査(概要)」

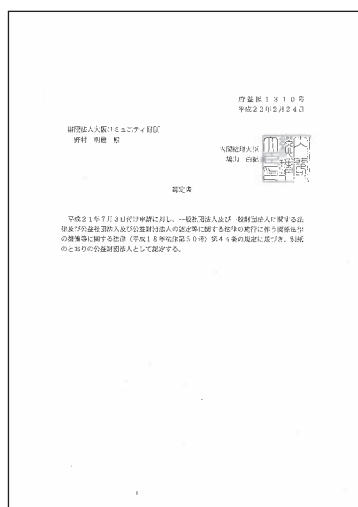
年	月・日	大阪コミュニティ財団の歩み	社会の出来事
平成13年 (2001)	11月7日	創立10周年記念事業実施（10周年記念式典・記念講演・「10年のあゆみ」の発刊）※6	中央省庁再編（1月6日） 「USJ」大阪にオープン（3月31日） アメリカ同時多発テロ（9月11日） 皇太子妃 雅子さま「愛子さま」ご出産（12月1日）
平成14年 (2002)	10月23日 12月	社会貢献セミナー「日本社会の再生とNPO」開催 財団ニュース第20号発行	欧州12か国で単一通貨ユーロ流通開始（1月1日） ソルトレークシティー冬季オリンピック（2月8日）パラリンピック（3月7日）開幕 学校完全週休2日制完全実施（4月6日） サッカーW杯日韓大会開催（5月31日）
平成15年 (2003)	4月1日 11月14日 11月20日	事務所移転（大阪商工会議所ビル5階に入居） 財団関係者の集い 開催 社会貢献セミナー「今、改めて問う“フィランソロピー”の意義『民の力がコミュニティを動かし社会を変える』」開催 寄付金累計額 15億円突破	完全失業率5.4%過去最悪（1月31日） イラク戦争始まる(3月20日) 小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ（5月9日） 宮城県沖（5月26日）、宮城県北部（7月26日）、十勝沖（9月26日）で地震が相次ぐ。 東京、大阪、名古屋で地上デジタル放送開始（12月1日）
平成16年 (2004)	4月18日 11月16日	助成実績 累計600件 3億円突破 財団関係者の集い、および 社会貢献セミナー「社会貢献活動の発展を求めて～地域を支える市民（企業、市民）、公的機関、公益法人の役割」開催	国立大学が国立大学法人に（4月1日） アテネオリンピック（8月13日）パラリンピック（9月17日）開幕 新潟中越地震（10月23日） 紙幣のデザインが20年ぶりに一新（11月1日）



※6 創立10周年記念式典

年	月・日	大阪コミュニティ財団の歩み	社会の出来事
平成17年 (2005)	11月28日	社会貢献セミナー「コミュニティの再生とNPOの役割」開催	「中部国際空港」が開港 (2月17日) 「愛・地球博」が愛知で開幕 (3月25日) 「クールビス」が開始(6月1日) 道路公団が民営化(10月1日)
平成18年 (2006)	3月27日 3月29日 11月1日	「大阪コミュニティ財団の集い in 東京」開催 「大阪コミュニティ財団の集い in 大阪」 (ドナーズフォーラム、助成事業の成果発表 会)開催 創立15周年記念シンポジウム&ワークショッ プ開催	トリノ冬季オリンピック(2 月10日)、パラリンピック (3月10日)開幕 野球の第1回WBCで日本優勝 (3月20日) 景気回復「いざなぎ」超え (11月22日)
平成19年 (2007)	3月29日 3月30日 6月 8月10日 10月23日	「大阪コミュニティ財団の集い in 大阪」 (ドナーズフォーラム、助成事業の成果発表 会)、および社会貢献セミナー「企業の社会貢 献活動」「NPOと企業の協働」開催 「大阪コミュニティ財団の集い in 東京」開催 財団ニュース第30号発行 寄付金累計額20億円を突破 社会貢献セミナー「食育の推進、エコツーリズ ム振興等による地域の活性化～非営利団体の枠 割を中心に～」開催	気象庁、最高気温35度以上 の日を「猛暑日」と呼ぶことに (1月8日) 「防衛省」発足(1月9日) 能登半島地震(3月25日)、 新潟県中越地震(7月16日) が相次いで発生 サブプライムローンの焦げ付 き問題で世界同時株安 (8月9日) 郵政事業民営化(10月1日) 将棋 羽生善治二冠1000勝最 年少記録更新(12月21日)
平成20年 (2008)	3月26日 3月28日 4月	「大阪コミュニティ財団の集い in 東京」開催 「大阪コミュニティ財団の集い in 大阪」 (ドナーズフォーラム、助成事業の成果発表 会)開催 助成金支給累計件数1,000件突破 (助成累計額5億4,900万円)	後期高齢者医療制度スタート (4月1日) Iphone日本で発売 (7月11日) 北京オリンピック(8月8日) パラリンピック(9月6日)開幕 米国リーマン・ブラザーズが 経営破綻(9月15日) 益川敏英氏、小林誠氏、南部 陽一郎氏、ノーベル物理学賞 受賞(10月7日)、下村脩氏、 ノーベル化学賞受賞(10月8 日)

年	月・日	大阪コミュニティ財団の歩み	社会の出来事
平成21年 (2009)	2月10日 2月16日 7月3日 7月31日	「大阪コミュニティ財団の集い in 東京」の開催 「大阪コミュニティ財団の集い in 大阪」 (ドナーズフォーラム、助成事業の成果発表 会) および社会貢献セミナー「生物多様性とビ ジネス」開催 内閣府に公益認定を申請 基金数200に達する	日本人宇宙飛行士の若田光一 さん、日本人初の宇宙長期滞 在(3月16日) エコポイントスタート(5月 15日) 裁判員制度開始(5月21日) 消費者庁発足(9月1日)
平成22年 (2010)	2月24日 3月1日 3月8日 3月24日 3月30日 11月9日	内閣府から公益認定を受ける 公益財団法人への移行登記(公益財団 法人 大阪コミュニティ財団スタート)※7 公益財団法人として第1回理事会開催、平成22 年4月助成先を承認(初めて1億円を突破) 公益財団法人として第1回評議員会開催 「大阪コミュニティ財団の集い in 大阪」 (ドナーズフォーラム、助成事業の成果発表 会)開催 「大阪コミュニティ財団の集い in 東京」開催 社会貢献セミナー「社会変革に向けた企業・ NPO・行政の新しい協働とは」開催	日本年金機構発足(1月1日) バンクーバ冬季オリンピック (2月12日)パラリンピック (3月12日)開幕 高校の授業料実質無料化 (4月1日) 小惑星探査機「はやぶさ」7年 にわたる宇宙旅終え帰還 (6月13日) 鈴木章氏、根岸英一氏、ノー ベル化学賞受賞(10月6日) 東北新幹線 八戸～新青森間開 通し全線開通(12月4日)
平成23年 (2011)	3月25日 7月 7月11日 7月15日 11月9日	「大阪コミュニティ財団の集い in 大阪」の開催 財団ニュース第40号発行 内閣府から「税額控除に係る証明書」を取得 寄付金累計額25億円を突破 創立20周年記念事業実施※8	日本のGDP世界3位に後退 (2月14日) 東日本大震災発生、福島第一 原発事故(3月11日) 地上テレビのアナログ放送終 了し、地上デジタル放送に移行 (7月24日)



※7 公益財団法人認定書



※8 創立20周年記念式典・シンポジウム

年	月・日	大阪コミュニティ財団の歩み	社会の出来事
平成24年 (2012)	3月5日 3月19日 3月28日 12月3日	東日本大震災復興支援基金設置 「大阪コミュニティ財団の集い in 東京」開催 「大阪コミュニティ財団の集い in 大阪」 (ドナーズフォーラム、助成事業の成果発表会)開催 社会貢献セミナー「東日本大震災一被災地の現状とこれからの課題」開催	復興庁発足(2月10日) 「東京スカイツリー」オープン (5月22日) ロンドンオリンピック(7月27日)パラリンピック(8月29日)開幕 京都大学教授 山中伸弥氏ノーベル医学・生理学賞受賞 (10月8日)
平成25年 (2013)	3月18日 3月28日 10月9日 11月19日	「大阪コミュニティ財団の集い in 東京」開催 「大阪コミュニティ財団の集い in 大阪」 (ドナーズフォーラム、2012年度助成事業の成果発表会)開催 「2013年度助成事業発表会」開催 社会貢献セミナー「これからの非営利セクターに期待すること」開催	日本人女性の平均寿命が世界一に(7月25日) IOC総会で2020年五輪・パラリンピックの開催都市が東京に決定(9月7日) 「和食」の食文化、ユネスコ無形文化遺産に登録決定 (12月4日)
平成26年 (2014)	1月14日 3月5日 3月18日 3月25日 6月 8月1日 10月9日 11月6日	ホームページリニューアル 寄付金累計額30億円突破 助成金累計額10億円突破 「大阪コミュニティ財団の集い in 東京」開催 「大阪コミュニティ財団の集い in 大阪」 (ドナーズフォーラム、2013年度助成事業発表会)開催 財団ニュース第50号発行 ※9 『東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金』を活用した助成事業の成果発表会」開催 「2014年度助成事業発表会」開催 社会貢献セミナー「誰もが役割を最大化できる社会をめざして」開催	ソチ冬季オリンピック(2月17日)パラリンピック(3月7日)開幕 大阪市に日本一高いビル「あべのハルカス」全面開業 (3月7日) 消費税5%から8%に引上げ (4月1日) 総人口の4人に1人が65歳以上に(4月15日) サッカーW杯ブラジル大会開幕 (6月12日) 御嶽山噴火(9月27日) 赤崎勇氏、天野浩氏、中村修二氏がノーベル物理学賞受賞 (10月7日)



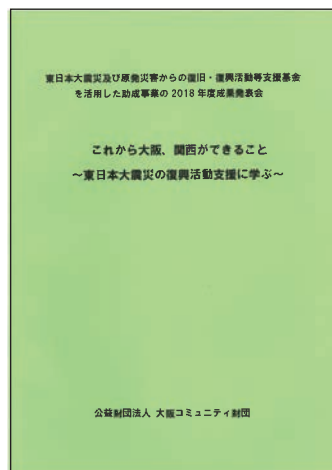
※9 大阪コミュニティ財団ニュース第50号

年	月・日	大阪コミュニティ財団の歩み	社会の出来事
平成27年 (2015)	3月5日	寄付金累計額35億円を突破	北陸新幹線、長野～金沢間開業(3月14日) 戦後70年終戦の日(8月15日) 女性活躍推進法成立(8月28日) 大村智氏、ノーベル医学・生理学賞受賞(10月5日) 梶田隆章氏、ノーベル物理学賞受賞(10月6日)
	3月17日	「大阪コミュニティ財団の集い in 東京」開催	
	3月26日	「大阪コミュニティ財団の集い in 大阪」(ドナーズフォーラム)開催	
	4月22日	2015年度助成事業の目録贈呈式および2014年度助成事業の成果発表会開催 ※10	
	4月	助成累計件数2,000件突破(助成累計額億11億3,200万円)	
	7月3日	「『東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金』を活用した助成事業の成果発表会」開催	
	9月9日	テーマ別ワークショップ開催(認知症予防、不登校・ひきこもり対策)	
	9月15日		
	10月5日	「2015年度助成事業発表会」開催	
	11月6日	社会貢献セミナー「公益活動を支える新たな資金源：社会的投資の可能性」開催	
平成28年 (2016)	3月18日	「大阪コミュニティ財団の集い in 東京」開催	日銀、マイナス金利導入を決定(1月29日) 北海道新幹線開業(3月26日) 熊本地震発生M6.5(4月14日) 伊勢志摩サミット開催(5月26日) 選挙権18歳に(6月19日) リオデジャネイロオリンピック(8月5日)パラリンピック(9月7日)開幕 山の日制定(8月11日) 中学2先生の藤井聡太君、史上最年少で将棋のプロ棋士に(9月3日) 大隅良典氏、ノーベル医学・生理学賞受賞(10月3日)
	3月30日	「大阪コミュニティ財団の集い in 大阪」(ドナーズフォーラム)開催	
	4月22日	2016年度助成事業の目録贈呈式および2015年度助成事業の成果発表会開催	
	7月7日	「『東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金』を活用した助成事業の成果発表会」開催	
	9月20日	テーマ別ワークショップ開催(竹林整備を通じた里山保全と地域の魅力づくり)	
	10月3日	「2016年度助成事業発表会」開催	
	11月8日	設立25周年記念講演会開催	



※10 2015年度助成事業の目録贈呈式

年	月・日	大阪コミュニティ財団の歩み	社会の出来事
平成29年 (2017)	3月 3月15日 3月30日 4月17日 6月1日 7月13日 10月2日 10月20日	財団ニュース第60号発行 「大阪コミュニティ財団の集い in 東京」開催 「大阪コミュニティ財団の集い in 大阪」 (ドナーズフォーラム) 開催 2017年度助成事業の目録贈呈式および2016 年度助成事業の成果発表会開催 寄付金累計額40億円を突破 「『東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興 活動等支援基金』を活用した助成事業の成果発 表会」開催 「2017年度助成事業発表会」開催 テーマ別ワークショップ「地域における障がい 者の自立支援」開催	子どもの数36年連続減 過去 最低更新(5月4日) 九州北部豪雨災害(7月5日) 「沖ノ島(福岡県)」世界文 化遺産登録決定(7月9日)
平成30年 (2018)	3月12日 3月30日 4月16日 9月13日 10月3日	「大阪コミュニティ財団の集い in 東京」開催 「大阪コミュニティ財団の集い in 大阪」 (ドナーズフォーラム) 開催 2018年度助成事業の目録贈呈式および2017 年度助成事業の成果発表会開催 「『東日本大震災及び原発災害からの 復旧・復興活動等支援基金』を活用し た助成事業の成果発表会」開催、報告書 作成 ※11 「2018年度助成事業発表会」開催	平昌冬季オリンピック(2月 19日)パラリンピック(3月 9日)開幕 子ども食堂急増、全国2,000 か所を超える(4月3日) 大阪北部地震発生M6.1 最大 震度6弱(6月18日) 台風21号が上陸、関西国際 空港で大きな被害(9月4日) 北海道地震発生M6.7最大震 度7(9月6日) 本庶 佑氏ノーベル医学・生理 学賞受賞(10月1日)
平成31年 (2019)	2月27日 3月22日 3月28日	ワークショップ「地域で伸ばす子どもの未来」 開催 「大阪コミュニティ財団の集い in 東京」開催 「大阪コミュニティ財団の集い in 大阪」 (ドナーズフォーラム) 開催	皇太子徳仁親王殿下が第126 代天皇に即位(5月1日) 元号は令和



※11 「東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金を活用した助成事業の2018年度成果発表会」報告書

年	月・日	大阪コミュニティ財団の歩み	社会の出来事
	4月16日 4月	2019年度助成事業の目録贈呈式および2018年度助成事業の成果発表会開催 助成累計件数3,000件突破 (助成累計額約14億5,200万円)	大阪市で日本初の主要20か国・地域(G20)首脳会議開催(6月28日～) 「百舌鳥・古市古墳群」が世界文化遺産に登録決定(7月6日) ラグビーW杯日本大会開催、日本は8強(9月20日～)
令和元年(2019)	10月2日	「2019年度助成事業発表会」開催	消費税8%から10%に引上げ(10月1日) 吉野彰氏、ノーベル化学賞受賞(10月9日)
令和2年(2020)	3月3日 7月 10月1日	助成累計額15億円を突破 財団ニュース第70号発行 ※12 「2021年度助成事業募集説明会」開催 ※3月開催予定の「『東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金』を活用した助成事業の成果発表会」、「大阪コミュニティ財団の集いin東京」、「大阪コミュニティ財団の集いin大阪」(ドナーズフォーラム)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止	新型コロナウイルス感染防止のため政府が全国の小・中学校、高校に休校要請(2月28日) 東京五輪・パラリンピックの延期決定(3月24日) 新型コロナ感染拡大受け全国に初めて緊急事態宣言が发出(4月16日) レジ袋有料化(10月1日)
令和3年(2021)	10月1日	※4月開催予定の「2021年度助成事業の目録贈呈式および2020年度助成事業の成果発表会」は新型コロナウイルス感染防止のため開催を中止 「2022年度助成事業募集説明会」開催	日本国内で初めてCOVID-19ワクチンの接種始まる(2月17日) 1年遅れの東京オリンピック(7月23日～8月8日)パラリンピック(8月24日～9月5日)開幕 デジタル庁発足(10月1日)



※12 大阪コミュニティ財団ニュース第70号

設置年度別基金一覧

当財団の設立時から2021年8月末までの間に設置された基金について、寄付者の氏名と居住都市（法人等は所在都市）、寄付金累計額、基金の種類、寄付者の基金設置の動機や基金に寄せられた志などを要約して紹介します。

金額はすべて、基金が設置されてから2021年8月末までの寄付金の累計です。運用収益助成型の永続基金については、元本を記載しています。元本助成型の期間基金については、寄付金の累計額となっており、実際には、この額から助成金が支給されていることとなります。

基金の種類は、基金が設置されて以来のもので、設置後に基金の種類が変更された場合は、（ ）内に変更年月と新しい種類の名称を記載してあります。また、基金を設置いただいた方々のお志や助成に対する感想等も掲載しています。最後に、遺贈の申込みも掲載しています。

1991年度（平成3年度）設置（9基金）

大阪商工会議所基金 大阪商工会議所（大阪市） 100,000,000円（永続・運営）	当財団設立のため、その基本財産として大阪商工会議所が出捐。
大輪会ふれあい基金 ※1 大輪会（大阪市） 14,500,000円（期間・関与）	花の万博の共同出展企業50社が、万博終了後も地域社会発展をめざした活動を継続するため、「自然と人間の共生」という理念に沿って、花、緑、水に関する事業を支援したい。
フジキン小島・小川科学教育振興基金 ※2 株式会社フジキン（大阪市） 10,000,000円（永続・分野指定） （2009年1月名称変更） （2019年10月地域変更）	分野：近畿2府4県の理工系を中心とする大学への図書寄贈 地域：近畿2府4県 宇宙開発関連機器メーカーである(株)フジキン会長の功績顕彰事業の一環として、地元の大学、公共図書館へ継続して図書を寄贈し、主に理工系学生の育成に貢献したい。
三菱電機ビルテクノサービス・エコロジー基金 （永続基金） 三菱電機ビルテクノサービス株式会社大阪支社 （大阪市） 1,500,000円（永続・分野指定）	分野：環境問題に関する寄付講義の提供 地域：大阪 地元の大学工学部に環境問題に関する寄付講義を提供したい。
同（期間基金） 6,000,000円（期間・分野指定） （計7,500,000円）	
よし子高齢者問題基金（永続基金） 匿名希望の個人（河内長野市） 3,100,000円（永続・分野指定） （期間基金：5年度設置）	分野：高齢者の介護事業等支援 先立たれた夫人の生命保険金の一部を、今後の高齢者対策の充実に役立てたい。
和泉市水仙基金（永続基金）（その1） 山田幸治氏ほか個人・企業等（和泉市） 10,153,510円（永続・分野・地域指定） （期間基金：10年度設置）	分野：身心障がい者（児）福祉および自然環境保全 地域：和泉市 和泉市を美しくする会の代表者が、市の障がい者（児）福祉団体・ボランティアの生きがい対策、および自然環境の保全のため10万円を寄付し、市花・水仙の名を冠した基金を設置。その趣旨に賛同する市民の共感を呼び、大きな基金に育つ。
ストラックホフ・ファミリー基金 ユージン・ストラックホフ氏（米国メリーランド州） 150,000円（永続・一般）	当財団発足記念国際シンポジウムに講師として出席された全米財団協議会元会長が謝金の半額を寄付。大阪コミュニティ財団の発展を支援したい。
大阪シティ信用金庫 せんだぎ基金 ※3 大阪シティ信用金庫（大阪市） 10,000,000円（永続・関与） （2015年3月 基金名称変更）	分野：文化・スポーツ団体の事業支援 地域：大阪を中心とする近畿 大阪シティ信用金庫が創立65周年を記念し、中之島にかかる梅檀の木橋にちなんだ基金を設置。大阪を中心に近畿の文化・スポーツ団体への経済的支援を行いたい。

1992年度(平成4年度)設置(19基金)

大阪商工会議所奨学基金 大阪商工会議所(大阪市) 100,000,000円(永続・関与)	地域:大阪 大阪コミュニティ財団の設立を契機に、従来から奨学金支給のため設置していた基金を増額して財団に移管。対象学生・生徒の範囲も広く大阪一円に拡大したい。
ディズニーこども基金 産経新聞大阪新聞厚生文化事業団(大阪市) 25,056,454円(期間5年・関与) (2010年6月 一般基金に変更)	分野:こども病院入院の子供たちを励ます事業 地域:大阪 「ウォルト・ディズニー映画祭'92大阪」の収益金を当財団に寄付。こども病院の病床にいる子供達を励まし、明るい希望を持たせるための事業に役立てて欲しい。
TOYO TIRE グループ環境保護基金 (永続基金) TOYO TIRE株式会社と同グループ各社、 従業員有志(兵庫県伊丹市) 96,570,010円(永続・関与) (2019年3月 基金名称および社名変更)	分野:環境問題に取り組む国内外のNGO支援 地球環境問題の解決に貢献を希望する従業員有志による資金拠出に、会社が同額を上乗せしてマッチング・ギフト方式で寄付を継続。環境問題に取り組む国内外のNGOに資金援助を行いたい。
同(期間基金) 413,763,690円(期間・関与) (計510,333,700円)	
鷺澤孝子難病助成基金 鷺沢三蔵氏(豊中市) 1,000,000円(永続・分野指定)	分野:難病研究助成 脊髄小脳変性症という原因不明、治療法未開発の難病で他界された夫人を偲び、難病研究の助成に貢献したい。
匿名基金No.1 匿名希望の個人(宝塚市) 2,000,000円(永続・一般) (2007年6月 分野・地域指定に変更)	分野:文化振興 地域:関西 在阪有力企業の役員が大阪商工会議所の役職を退任された機会に基金を設置。関西における文化振興に寄与したい。
大阪府基金 大阪府(大阪市) 25,000,000円(永続・運営)	社会貢献活動に関する普及啓発事業を充実させたい。
大阪市基金 大阪市(大阪市) 25,000,000円(永続・運営)	社会貢献活動に関する普及啓発事業を充実させたい。
大同生命社会活動基金 大同生命保険株式会社(大阪市) 3,000,000円(期間・分野指定) (2005年12月 一般基金に変更)	分野:身体障がい者支援 創業90周年記念事業の一環として、経営理念である「広く福祉の向上ならびに地域経済の発展に資する」を踏まえ、身体障がい者対策の充実に役立つ事業を支援したい。
老人医療基金 清水裕之氏(豊中市) 500,000円(期間・分野指定) (2005年12月 一般基金に変更)	分野:老人医療の充実 母親の死去にあたり寄せられた香典の一部を老人医療の充実に役立てたい。
大阪厚生信用金庫福祉基金 大阪厚生信用金庫(大阪市) 10,000,000円(永続・関与) (25年6月 分野変更)	分野:社会一般の福祉の増進 地域:大阪 創業70周年を迎えて、地域への感謝の想いを込め、将来の豊かな街づくりと地域との共生を目的とした事業を支援したい。
匿名基金No.2 匿名希望の個人(茨木市) 8,010,000円(永続・運営)	子供が成人し、余裕ができたので、社会貢献活動に取り組んでいる当財団を支援したい。貧者の一灯と理解して欲しいと、毎月3万円を継続して寄付いただいた。
アジア交流基金 藤本琢磨氏(神戸市) 200,000円(永続・分野・地域指定) (2007年3月 一般基金に変更)	分野:国際交流事業 地域:大阪府 環太平洋時代を迎え、東南アジアの発展を担う学生を支援する資金の一部に充てて欲しい。

佐海キ又賞基金（永続基金） 花柳寿々絹氏（大阪市） 10,000,000円（永続・分野指定）	分野：文学・美術・演劇・音楽・舞踊 永く日本舞踊の伝承普及に努め、大阪文化賞金賞などの荣誉に輝いた自らの功績を後世にとどめ、芸術を志す方々に励ましの志を伝えるため、賞を贈りたい。
同（期間基金） 1,109,855円（期間・分野指定） （計11,109,855円）	
木内秀雄賞基金（永続基金） 木内キミ・節子氏（大阪市） 6,000,000円（永続・分野指定） （期間基金：1996年度設置）	分野：文学・美術・演劇・音楽・舞踊の支援 学徒動員で沖縄に散った木内秀雄氏の母親と妹は、優れた芸術作品に接して生きることへの感謝を込めて軍人恩給により基金を設置。文学・芸術の各分野で優れた業績を挙げた人に賞を贈りたい。
大阪府建団連基金 社団法人 大阪府建団連（大阪市） 1,000,000円（永続・一般）	地域社会の向上に寄与する事業を支援し、社会の発展に貢献したい。
NTT自然環境保護基金 西日本電信電話株式会社（大阪市） 5,000,000円（永続・分野・地域指定）	分野：自然環境の保護 地域：近畿2府4県 関西地区での電話事業開設100周年を記念。「地球にやさしいNTT」のイメージを高めるため、近畿圏の自然環境保護団体を支援したい。
ダイダン社会活動基金 ダイダン株式会社（大阪市） 20,000,000円（永続・分野指定）	分野：身体障がい者対策の充実 創業90周年記念事業の一環として、社会貢献活動を多方面に呼びかけている大阪コミュニティ財団の趣旨に賛同して基金を設置。身体障がい者対策の充実に貢献したい。

1993年度（平成5年度）設置（12基金）

大阪商工会議所第21代会頭佐治敬三顕彰基金 大阪商工会議所（大阪市） 20,000,000円（永続・関与）	第21代佐治会頭の退任記念顕彰事業として基金を設置。社会一般の福祉の増進とわが国商工業の総合的な改善発達に寄与したい。
前川慈修会財団記念基金 財団法人 前川慈修会財団（大阪市） 9,157,644円（永続・分野指定）	分野：教育支援（奨学金の支給） 大正7年以来、奨学金の給付や神社仏閣の維持などを続けた財団法人が、関係者の高齢化により事業継続が困難となって解散。事業の継承を願って、残余財産を当財団に寄付。
ひかりの素足基金 株式会社 ツジ（大阪市） 272,341円（永続・分野指定）	分野：身障者のための福祉活動支援 身体障がい者が社会活動に積極的に参加できるよう環境の整備に一役を担いたい。
エル コミュニティ基金 有限会社エル・コーポレーション（大阪市） 30,000円（永続・分野指定）	分野：環境保護 環境の保護に役立てて欲しい。
藤井きみ彖謡曲基金 藤井謙三氏（豊中市） 500,000円（永続・分野・地域指定）	分野：文化の振興 地域：大阪 老後も元気で謡曲を楽しんでおられた母親が突然逝去。次男が百か日を契機に広く大阪の文化の振興に役立ちたいと寄付された。
大阪エイズ対策基金（永続基金） 大阪商工会議所（大阪市） 9,417,638円（永続・分野指定）	分野：エイズ対策 エイズに関する知識の普及やエイズ患者・HIV感染者への支援等の事業を行うNPOへの助成を目的として、大阪商工会議所が会員企業や個人へ寄付を呼びかけ設置。
同（期間基金） 1,911,652円（期間・分野指定） （計11,329,290円）	
レイク夢・未来・ユース基金 新生フィナンシャル株式会社（東京都） 10,000,000円（永続・関与） （2010年3月基金名称変更）	分野：青少年の健全育成（文学・スポーツ） 創業30周年の記念事業の一環として、文学・スポーツを通じて青少年の健全な心身を育むための活動を行っている団体に援助を続けたい。

セーブ・ザ・ネイチャー基金 TOYO TIRE 株式会社（兵庫県伊丹市） 410,000円（期間・分野指定） （2019年3月社名変更）	分野：環境保存活動、とくに自然保護・野生動物保護 ダウンウェア売上金の一部を、自然保護・野生動物保護のために活動する団体の活動資金に役立てて欲しい。
Panasonic大阪コミュニティ財団運営基金 （永続基金） パナソニック株式会社（門真市） 1,721,784円（永続・運営基金） （2013年3月基金名称及び種類変更）	大阪コミュニティ財団の運営支援
同（期間基金） 12,354,361円（期間・運営基金） （計14,076,145円） （2013年3月基金名称及び種類変更）	
よし子高齢者問題基金（期間基金） 匿名希望の個人（河内長野市） 100,000円（期間1年・分野指定） （永続基金：1991年度設置） （計3,200,000円）	分野：高齢者の介護事業等支援 先立たれた夫人の生命保険金の一部を、今後の高齢者対策の充実に役立てたい。

1994年度（平成6年度）設置（13基金）

森下 泰・美恵子記念癌研究基金 森下美恵子氏（神戸市） 20,000,000円（永続・分野指定）	分野：がん研究助成 製薬メーカーの経営者で、国会議員でもあった森下泰氏が癌で他界された後、夫人が蓄えておられた遺族年金で基金を設置。癌病研究助成に役立てて欲しい。
活力ある大阪を求める会基金 活力ある大阪を求める会（大阪市） 2,000,000円（永続・一般）	地域：大阪 大阪に活力を甦らせ、世界都市への発展を目指そうと、経済人、文化人、学界などの熱意により発足した当会は、目的を果たして解散するにあたり、残余財産の一部を寄付された。
桜基金（永続基金） 匿名希望の個人（河内長野市） 13,000,000円（永続・分野指定）	分野：身障者の子女に奨学金支給 身体障がい者は子女養育に特に苦労が多いので、育英資金を贈り養育を援助したい。
同（期間基金） 2,200,000円（期間・分野指定） （計15,200,000円）	
佐藤秋子・佐藤彰一 Home Sweet Home 基金 匿名希望の個人（堺市） 4,587,756円（永続・分野指定） （2017年3月 名称変更）	分野：独居老人の訪問看護など高齢者対策 父の遺産を、高齢者対策の充実の一助にして欲しい。
ケンコー基金 匿名希望の個人（羽曳野市） 3,000,000円（永続・分野指定）	分野：高齢者対策 佐藤秋子・佐藤彰一 Home Sweet Home基金の趣旨に賛同。高齢者対策の充実の一助にして欲しい。
ゆうぴーこども難病助成基金 中井和成氏（神戸市）、 匿名希望の個人（高槻市） 3,321,000円（永続・分野指定）	分野：こどもの難病対策支援 生まれながらの難病で4歳を待たずに逝った長男雄介君への香典232万1,000円に亡き子の愛称を付け、難病に苦しむこども達に役立てるため、両親が設置した基金。ミニコミ紙でこの基金を知った匿名希望の個人（高槻市）が、ご主人の供養と我が子の健康を祈念して追加寄付（100万円）をされた。
徐展堂基金 徐 展堂氏（香港） 200,000円（永続・一般）	1994年世界ビジネス・コンベンションの世界経済シンポジウムにパネリストとして出席された香港・北海集団有限公司董事長は、講師謝金を大阪の慈善活動に役立ててほしいと寄付された。
匿名基金 No.3 匿名希望の個人（奈良市） 500,000円（永続・運営）	大阪コミュニティ財団の事業活動の発展に役立ちたい。

匿名基金 No.4 匿名希望の企業（大東市） 100,000円（期間・一般）	社会貢献活動に役立てて欲しい。
匿名基金 No.5 匿名希望の企業（三重県伊賀市） 50,000円（期間・一般）	社会貢献活動に役立てて欲しい。
斉藤坂江・操 ガン研究基金 斉藤康巨、篤巨、汎巨、行巨の各氏（交野市） 500,000円（永続・分野指定）	分野：がん研究助成 父と姉に続き母操さんをも癌に奪われた4兄弟は、ガンの撲滅を願い、ガン研究の一助に供したいと、寄せられた香典の一部を寄付された。
阪神大震災復興基金 カリフォルニア・コミュニティ財団 （米国ロサンゼルス市） 16,054,237円（期間・分野指定） （2005年12月 一般基金に変更）	1年前の地震に際し、日本から受けた援助に返礼する意味で、市長の提唱を得て市民に募金を呼びかけ、被災地の人々と共に働く地域の組織や慈善団体への助成のため、寄付された。

1995年度(平成7年度)設置(9基金)

アライド・ドメック英日基金（永続基金） アライド・ドメック社（英国ロンドン市） 1,170,000円（永続・分野指定）	分野：国際交流支援 特定：カナディアン・アカデミーへの助成 英国の酒造メーカーが阪神大震災の救援のため寄付を寄せられ、神戸の外国人学校カナディアン・アカデミーの支援と国際交流分野の助成に使うことを希望して基金を設置。
同（期間基金） 3,000,000円（期間1年・特定） （計4,170,000円）	
大阪シンフォニカー基金 三洋電機株式会社（守口市） 3,000,000円（期間・特定）	特定：大阪シンフォニカー協会 大阪の最も新しい交響楽団「大阪シンフォニカー」のために、優れた奏者を確保する資金の一助にして欲しい。
柏岡精三記念基金 ※4 柏岡精三氏（箕面市） 250,000,000円（永続・関与） （2005年12月 一般基金に変更）	大阪商工会議所役員が社業から引退される機会に、創業以来55年に亘る地元大阪の支援に感謝し、大阪商工会議所への記念の意味をも込めて、若い人の育成の事業に役立てるよう寄付された。
湯浅智江子奨学基金（永続基金） 湯浅富一・禮子氏（大阪市） 21,000,000円（永続・関与） （期間基金、2000年度設置） （2012年6月 分野変更）	若くして先立たれた愛娘が勤務され、また父親自身も奉職される近畿大学に学ぶ外国人留学生を、亡き娘の供養の一環として支援したい。
立命館大学学園祭阪神大震災基金 立命館大学学園祭実行委員会（京都市） 142,272円（期間・分野指定） （2005年12月 一般基金に変更）	学園祭のチャリティ・オークションの売上金で阪神大震災の被災児に絵本を寄贈したい。
滝 実出版記念会基金 活力ある社会を創造する会（大和郡山市） 549,051円（期間・分野指定） （2008年3月 指定分野を変更）	分野：カンボジアにおける子どもの教育支援
匿名基金 No.6 匿名希望の美術館（東京都） 963,641円（永続・分野指定）	分野：文化施設、絵画美術品等の破損保護及び文化芸術活動に対する援助 民間美術館が阪神大震災を契機として、文化施設、絵画・美術品等の保護及び文化美術活動に対する援助に充てるため、1年間の入場料収入の一定割合と入場者からの募金を寄付された。
乙井義夫記念基金 乙井義正氏（西宮市） 50,000円（永続・運営）	父親の死去に寄せられた香典の一部を財団の運営支援に役立てて欲しい。

1996年度(平成8年度)設置(8基金)

健勝苑エイズ・サポート基金 株式会社 健勝苑 (京都市) 3,000,000円 (期間1年・特定) (2005年12月 一般基金に変更)	特定：ケアーズ 薬害エイズの被害者を直接ケアサポートしている団体(ケアーズ)を支援したい。
メドトロニック福祉基金 メドトロニック財団 (米国ミネソタ州) 12,680,315円 (期間・分野指定) (永続基金、1997年度設置)	分野：障がい者・高齢者の支援 障がい者・高齢者の支援活動に利用して欲しい。
アジア奨学基金 匿名希望の個人 (川崎市) 2,000,000円 (永続・分野指定)	分野：アジアからの留学生支援 余生をアジアの発展に捧げたいと念じつつ他界した亡き夫の夢を受け継ぎ、アジアからの留学生を支援したい。
大野隆夫 社会への恩返し基金 大野隆夫氏 (町田市) 5,000,000円 (永続・一般) (2007年6月 名称変更)	大阪コミュニティ財団が助成対象を拡大できるよう応援したい。
清文社基金 株式会社清文社 (大阪市) 2,000,000円 (永続・分野指定)	分野：財団・社団など公益法人に関する調査・研究 わが国公益法人の発展のため、調査研究に役立てて欲しい。
杉原明記念基金 杉原清道氏 (生駒市) 1,000,000円 (永続・分野指定)	分野：医学・薬学の研究助成 亡父の葬儀に寄せられた香典の一部を医学、薬学分野の進歩に役立てたい。
結(ユイ)の世界実行委員会基金 結(ユイ)の世界実行委員会 (大阪市) 1,400,000円 (期間・分野指定)	分野：知的障がい者の作業所が行う事業 地域：大阪、奈良、沖縄 知的障がい者の社会参加を支援するため、共同作業所が実施する事業への助成に役立てたい。
木内秀雄賞基金(期間基金) 木内キミ・節子氏 (大阪市) 300,000円 (期間・分野指定) (永続基金：1992年度設置) (計6,300,000円)	分野：文学・美術・演劇・音楽・舞踊の支援 学徒動員で沖縄に散った木内秀雄氏の母親と妹は、優れた芸術作品に接して生きることへの感謝を込めて、軍人恩給により基金を設置された。文学・芸術の各分野で優れた業績をあげた人に賞を贈りたい。

1997年度(平成9年度)設置(6基金)

みなとを考える会基金 夕陽からみなとを考える会 (大阪市) 21,500円 (期間1年・一般)	財団が行う助成事業のために役立てて欲しい。
再彩市場基金 再彩市場協議会 (大阪市) 50,000円 (期間1年・一般) (2007年6月 分野指定に変更) (2015年6月 一般基金に変更)	分野：環境保全 リサイクルによる環境保全をめざしてリサイクル市場を開催。チャリティ収益の一部を助成事業の一助にして欲しい。
綾子福祉基金 高木 清・正雄氏他 (香芝市) 1,005,000円 (期間18年・特定) (2007年6月 分野・地域指定に変更) (2008年10月 地域を変更)	分野：心身障がい児を支援する事業 地域：大阪府あるいは奈良県 妹の逝去にともないお世話になっている社会福祉法人を支援したい(当初)。
ダイリキ育英基金 ダイリキ株式会社 (大阪市) 6,000,000円 (期間・分野指定)	分野：大学生への奨学金支給 自社のスローガンである「人に良くしたい」という方針にもとづいて、人材育成に貢献したい。このため大学生に奨学金を支給し、若者の育成をはかりたい。
メドトロニック奨学基金 メドトロニック財団 (米国ミネソタ州) 1,800,000円 (期間・分野指定) (2015年6月 一般基金に変更)	分野：障がい者の子弟の教育支援 障がい者の子弟を支援したい。

メドトロニック福祉基金 メドトロニック財団（米国ミネソタ州） 3,500,000円（永続・分野指定） （期間基金、1996年度設置） （計16,180,315円）	分野：障がい者・高齢者の支援 障がい者・高齢者の支援活動に利用してほしい。
---	--

1998年度（平成10年度）設置（15基金）

OCF支援基金 大阪商工会議所役員・管理職（大阪市） ワールド・ファッション・フェア推進協議会 （大阪市） 1,328,230円（永続・運営）	大阪コミュニティ財団（OCF）の運営強化のために。
純久・京子盲導犬育成基金 杉山純久・京子氏（東京都） 200,000円（永続・分野指定）	分野：盲導犬の育成、訓練、研究等の支援 欧州での生活経験で、視覚障がい者をサポートする盲導犬の重要性を痛感。我が国における盲導犬の育成、訓練、関連事業を支援したい。
SEINチャイルド基金（その1） 三山義輝氏（千葉市） 413,300円（永続・分野指定） （期間基金、1999年度設置）	分野：恵まれない子どもたちの福祉支援 SEIN福祉問題研究会として、恵まれない子どもたちの援助活動を行ってきたが、同会のメンバーが減少したため、基金を大阪コミュニティ財団に移し、引き続き恵まれない子どもたちのために役立てたい。
日本クラウン基金 日本クラウン株式会社 大阪制作宣伝室 日出谷英雄氏（大阪市） 13,000円（期間・運営）	大阪コミュニティ財団の運営強化のために。
フナガ社会福祉基金 富永典寿氏（大阪市） 150,000円（期間・分野指定） （2010年6月 一般基金に変更）	分野：要援護社会的弱者（特に子ども、高齢者）のための施設・備品等の整備 要援護弱者（特に、子供・高齢者）の生活基盤確立のため、施設・備品等の整備を目的とする事業を支援したい。
YM健康スポーツ基金 峯山雄嗣・澄子氏（宝塚市） 200,000円（永続・分野指定）	分野：健康の増進、スポーツ振興 健康の増進・スポーツの振興のために。
大阪電業協会基金 社団法人 大阪電業協会（大阪市） 10,000,000円（期間10年・特定） （2010年6月 一般基金に変更）	分野：大阪府立・市立工業高等学校 大阪府立・市立の工業高校生に、電気工事士等の資格取得の費用を補助したい。
日産化学大阪福祉基金 ※5 日産化学工業株式会社（大阪市） 4,509,200円（期間・分野指定）	分野：社会福祉（身障者福祉） 創立110周年を契機に、地域社会への感謝の気持ちを込め、社員とマッチング・ギフト方式で、社会貢献、社会福祉の増進をめざしたい。
阪神大震災救援活動助成基金 江田直介・静子氏（箕面市） 3,100,000円（期間3年・一般） （2009年10月 一般基金に変更）	分野：阪神大震災の被災者を救援しているボランティア・グループ 地域：大阪府・兵庫県 阪神大震災の被災者への救援活動をしている団体を支援したい。
上田健一奨学基金 上田幸子氏（大阪市） 10,000,000円（期間・特定）	特定：大阪市立デザイン教育研究所 大阪市立デザイン教育研究所の学生に奨学金を支給したい。
片山千歳古典芸能振興基金 片山千歳氏（大阪市） 114,564,188円（永続・分野指定）	分野：古典芸能の振興 古典芸能の振興についての一助としたい。
美知ネフローゼ記念基金 匿名希望の個人（大阪市） 50,000,000円（永続・分野指定）	分野：ネフローゼの治療、研究、リハビリ等支援 子供を病で亡くし、その病気の治療・研究、リハビリ等のために役立てて欲しい。

美知身障者福祉基金 匿名希望の個人（大阪市） 50,000,000円（永続・分野指定）	分野：身障者の労働作業環境の整備 身障者の労働作業環境の整備を図り、自立を支援したい。
和泉市水仙基金（期間基金）（その2） 山田幸治氏ほか個人・企業等（和泉市） 529,000円（期間10年・分野・地域指定） （永続基金、1991年度設置） （計10,682,510円）	分野：自然環境保全 地域：和泉市 自然に恵まれた和泉市において、休耕地を借り上げるか、ナショナルトラスト方式によって入手し、市民ボランティアによる自然公園をつくり、健康増進と余暇の有効利用を目指す。
和泉市くすの木基金（和泉市） 山田幸治氏ほか個人・企業等（和泉市） 2,728,000円（期間・分野指定） （2010年6月 一般基金に変更）	分野：アジアを中心とするNGO活動の支援 和泉市水仙基金が1,000万円突破を契機に、和泉を美しくする会がアジア協会アジア友の会と協賛してインドピジャプール・ハイスクールに給食室を寄贈したのをきっかけとし、今後、運営基金の創設のため広く市民の賛同を得て大きく活動したい。

1999年度（平成11年度）設置（6基金）

ストリートチルドレン等救済基金（永続基金） 江田直介・静子氏（箕面市） 500,000円（永続・分野・地域指定）	分野：ストリートチルドレン等の救済事業 地域：東南アジア及びアフリカ 東南アジアにおけるストリートチルドレンや売春・強制労働等で虐げられている子供たちの救済に当たっているボランティア団体の活動を支援したい。 (2016年6月 地域変更)
ストリートチルドレン等救済基金（期間基金） 江田直介・静子、栗林敏子の各氏（箕面市） 34,924,315円 （期間・分野・地域指定） （計35,424,315円）	
SEINチャイルド基金（その2） 三山義輝、葉玉義則、根津香織の各氏（千葉市） 50,000円（期間2年・分野指定） （永続基金、1998年度設置） （計463,300円）	分野：子どもの福祉 恵まれない子供たちの福祉のために。
匿名基金 No.8 匿名希望の個人（大阪狭山市） 200,000円（永続・運営）	大阪コミュニティ財団の運営を支援したい。
匿名基金 No.9 匿名希望の個人（藤井寺市） 500,000円（期間2年・分野・地域指定）	分野：福祉 地域：大阪府 大阪に嫁いだ亡母の志を生かし、福祉の増進のために貢献したい。
晴河基金 関谷和宏・共美・大陸の各氏（大阪市） 111,290円（永続・分野指定）	分野：新生児医療の研究と発展 生まれてすぐに亡くした最愛の子供のことを忘れないために基金を設け、同じような境遇にある方々を援助したい。

2000年度（平成12年度）設置（8基金）

がっこう基金（永続基金） 江田直介・静子氏（箕面市） 500,000円（永続・分野指定）	分野：アジアにおける学校建設・運営の支援 アジアで学校がない地域に学校を建設したり、その運営を手助けしているボランティア母体の活動を支援したい。
同（期間基金） 34,924,315円（期間・分野指定） （計35,424,315円）	
君江内蒙古草原文化基金 曾根君江氏（尼崎市） 210,000円（永続・地域指定）	地域：中国内モンゴルに関する活動 かつて訪れた中国内モンゴルの草原の美しさが、文明社会に押しつぶされることなく永遠に残り、風化しつつある遊牧民のくらしが、その子孫へと受け継がれることを願って基金を設置。内モンゴルの砂漠緑化活動グループや、内モンゴルの民族音楽演奏家の来日公演など、日蒙相互の文化交流を支援したい。

大西グループ奨学基金 株式会社 大西（大阪市） 6,000,000円（期間10年・分野指定） （2015年6月 一般基金に変更）	分野：大学生の人材育成 セルフグループ21世紀記念行事の一環として、21世紀を担う人材予備軍の大学生に対し奨学金を支給することで、その人材育成に貢献したい。
原っぱ基金 西山電、岩崎雷の各氏（山口市） 460,000円（永続・分野指定）	分野：スポーツ少年のための原っぱ確保 息子達の二十歳の誕生日を記念し、全てのスポーツ少年が思いっきりボールを蹴ったり、投げたりできる原っぱが買えればという思いをこめて基金を設置。
深津三千代基金 田島政三・幸子氏（埼玉県深谷市） 2,000,000円（永続・運営）	先立たれた娘の供養に、財団の運営に役立てて欲しい。
藤崎基金 藤崎茂巳氏（大阪市） 2,000,000円（期間・特定） （2010年6月 一般基金に変更）	特定：国立感染症研究所エイズ研究センター 国立感染症エイズ研究センターの「メトロエンドペプチターゼの抗HIV効果の解析とその応用」の研究活動を支援したい。
湯浅智江子奨学基金（期間基金） 湯浅富一氏（大阪市） 120,000円（期間・特定） （永続基金、1995年度設置） （計20,120,000円） （2012年6月助成分野変更）	特定：近畿大学留学生センター 若くして先立たれた愛娘が勤務され、また父親自身も奉職される近畿大学に学ぶ外国人留学生に対して、亡き娘の供養の一環として奨学金を支給したい。

2001年度（平成13年度）設置（22基金）

朝井・森田海外協力教育基金（その2） 森田輝子氏（宝塚市） 600,000円（永続・分野指定） （2008年3月 名称および分野変更）	分野：発展途上国の学生の教育資金 アフリカその他の発展途上国の人々の生活・教育に役立てたい。
岡本史子基金 岡本禮二・美津子氏（龍野市） 1,000,000円（永続・一般）	若くして亡くなった娘の供養に社会貢献活動に役立てて欲しい。
川嶋昇基金 徳岡豊子氏（東大阪市） 10,000,000円（永続・一般）	「川嶋」の姓を名のる者がいなくなったので、基金に名前を残して財団の助成事業に役立てたい。
吉良道子基金 富田恵子氏（千葉県鎌ヶ谷市） 400,000円（期間8年・分野・地域指定）	分野：児童の教育 地域：東南アジア（ベトナムなど） 姉の遺産の一部を、東南アジアにおける児童の教育に役立てて欲しい。
黒瀬静子記念基金 黒瀬義郎氏（東京都） 5,000,000円（永続・分野指定） （2012年3月 基金の種類及び分野変更）	分野：恵まれない子どもたちへの支援 様々な事情により、恵まれない境遇にある子どもたちが「何事にも挫けぬ強い心」や「挑戦する勇気」を育むことのできる活動を支援したい。
Koto Syoko, JAPAN基金（期間基金） 古登正子氏（千葉県我孫子市） 1,500,000円 （期間20年・分野・地域指定） （永続基金：2010年度設置）	分野：アジアの子どもたちへの文具提供等 地域：ネパール、カンボジア、ミャンマー、アフガニスタン、ケニア、ウガンダ、タンザニア 途上国の子供たちへの文具提供などの援助を行っているボランティア団体の活動を支援したい。
こどもに夢を！基金 株式会社リブレ（大阪市） 500,000円（期間・分野指定） （2010年6月 一般基金に変更）	分野：学校建設 こどもに夢のある商品をより安く、スピーディに！（会社理念）を踏まえ、世界の子供たちに学校建設などの支援をしたい。
子ども育成基金 真壁多津子氏（東京都） 110,000円（永続・分野指定）	子ども食堂等子どもたちのために活動する団体の事業

巽由太郎基金 巽広明氏（奈良県北葛城郡広陵町） 300,000円（永続・一般）	ボランティア活動への助成に役立てて欲しい。
谷川勝奨学基金（永続基金） 谷川杏奴氏（大阪市） 680,000円（永続・分野指定）	分野：高等学校の学生への奨学金支給 勉学を志す若人に、主人の遺産を役立てたい。
同（期間基金） 4,320,000円（期間・分野指定） （計5,000,000円）	
ダウン症赤ちゃん体操普及基金 藤田弘子氏（堺市） 榑大与（豊中市） 2,150,000円（期間・分野指定）	分野：ダウン症乳児の育児支援 ダウン症乳児の育児を支援したい。
T&S介護人材育成基金（永続基金） 栗林敏子氏、江田静子氏（箕面市） 2,000,000円（永続・分野指定）	分野：介護、特にリハビリ治療の分野で国家資格取得をめざす学生への奨学金支給 急速な高齢化の進行に態勢が追いつかない我国で、ますます需要の高まりを見せる介護問題。その中でも、病気やけが等により失った機能回復のためのリハビリテーション治療の需要も増大の一途を辿りつつある。そこで、そのための人材確保のため、国家試験による資格を取得すべく学業に励む学生への学資を助成したい。
同（期間基金） 74,624,315円（期間・分野指定） （計76,624,315円）	
匿名基金 No.10 匿名希望の個人（千葉市） 220,000円（永続・運営基金）	大阪コミュニティ財団の運営を支援したい。
本多八重子声楽基金 的場節子氏（豊中市） 1,000,000円（永続・分野指定）	分野：クラシック音楽の振興 東京音楽学校（現東京芸大）を卒業後、渡欧、ローマ、サンタチェチリア音楽院に留学した亡き母の音楽に対する情熱を感じて基金を設置。クラシック音楽の振興に役立てて欲しい。
光劭還暦記念基金 照山幸子氏（神奈川県相模原市） 600,000円（永続・分野指定）	分野：恵まれない子どもたちの支援 夫の還暦祝いの会を行い、その会費とご祝儀金により設置。子供が好きな夫の気持を生かして、恵まれない子供たちのために役立てて欲しい。
森重利信癌研究基金 森重昭子氏（松原市） 500,000円（永続・分野指定）	分野：癌研究助成 五ヶ月間入院の間、動き回ることではできても口からの飲食は一切できずに他界した夫を偲び、癌研究の一助にして欲しい。
森永琢也基金 森永泰彦・智香子・太輔の各氏（愛知県豊田市） 2,000,000円（永続・分野指定）	分野：小児疾患の研究助成 健やかに成長していた息子が難治性肝疾患のため12歳で突然他界。供養の一環として、小児疾患の研究助成に貢献したい。
八木徹記念基金 八木裕二氏（豊中市） 300,000円（期間30年・分野指定）	分野：社会福祉 二十歳で亡くなった息子の名前を残し、社会福祉に役立てたい。
山内和子記念基金 山内優徳・直人氏（愛媛県松山市） 1,000,000円（永続・一般）	亡妻の葬儀に寄せられた香典の一部を、財団が行う助成事業に役立てたい。
匿名基金 No.11 匿名希望の個人（東大阪市） 500,000円（期間・一般）	大阪コミュニティ財団の助成事業を支援したい。

2002年度（平成14年度）設置（10基金）

谷田基金 匿名希望の個人（宇治市） 50,000円（永続・分野指定）	分野：独居老人の支援 独居老人の支援に役立てたい。
朝井・森田海外協力教育基金（その1） 森田輝子氏（宝塚市） 400,000円（永続・分野指定）	分野：発展途上国の学生の教育資金 アフリカその他の発展途上国の人々の生活・教育に役立てたい。

かけはし基金 匿名希望の個人（藤井寺市） 1,000,000円（期間5年・分野指定）	分野：親を失った子どもたちの自立支援 学生時代からボランティア活動を通じて、親を失った子どもたちに接していたことがあり、彼らの自立を支援したい。
幸樹フレンドリー基金 岡田峰雄・小林千宏氏 （群馬県伊勢崎市および前橋市） 200,000円（永続・特定）	特定：公益財団法人がんの子供を守る会 小児ガンで亡くしたご子息を偲び、小児ガンで治療、闘病中の仲間を支援している「がんの子どもを守る会」（のぞみ財団）の支援事業に役立てたい。
節子基金 得能節子氏（堺市） 1,500,000円（期間1年・分野指定） （2010年6月 一般基金に変更）	分野：アジアの学校建設支援 アジアで学校がない地域に学校を建設したい。
畑田ボチ&パイパイ基金 畑田睦子氏（東大阪市） 1,700,000円（期間5年・分野指定） （2015年6月 一般基金に変更）	分野：動物愛護支援 飼犬を亡くした動物愛護家が犬の供養のため、動物愛護活動を支援したい。
義行、登志子親子基金 匿名希望の個人（千葉県四街道市） 16,000,000円（永続・分野指定）	分野：交通遺児支援、不幸な子供支援 父と妹の遺産で、二人を偲ぶ基金を設置し、交通遺児や両親の離婚等による不幸な子供たちを支援したい。
福井敏ガン・医療基金（永続基金） 匿名希望の個人（豊中市） 80,000,000円（永続・分野指定）	分野：ガンの治療・研究、身体障がい者等の支援 亡夫から引き継いだ財産をガンの治療・研究や身体障がい者等の支援・助成に役立ててほしい。
同（期間基金） 20,000,000円（期間10年・分野指定） （計100,000,000円）	
A・SAKAI基金 酒井昭氏（札幌市） 1,000,000円（期間2年・特定） （2010年6月 一般基金に変更）	特定：ベトナム原子力研究所生物学部門 ベトナムの絶滅に瀕する貴重な植物種の長期保存と活用を研究する同国原子力研究所（ダラート市）生物学部門Thin博士の研究プロジェクト立ち上げを支援したい。

2003年度（平成15年度）設置（11基金）

吉岡徳子社会福祉基金 吉岡とし子氏（伊丹市） 500,000円（永続・分野・地域指定）	分野：社会福祉 地域：伊丹市を中心とした兵庫県内 娘の名前を残し、伊丹市を中心に兵庫県内の社会福祉事業に役立てたい。
山口淑子友愛基金 山口淑子氏（群馬県高崎市） 30,000,000円（永続・運営） （2014年3月基金名称変更）	大阪コミュニティ財団の活動と運営に役立ててほしい。
肺結核撲滅運動基金 松尾吉純氏（西宮市） 100,000円（永続・分野指定）	分野：肺結核の撲滅 日本ならびに海外諸国の肺結核の撲滅に役立ててほしい。
一夫フラワー基金 匿名希望の個人（神戸市） 240,000円（永続・分野指定）	分野：緑化・環境改善 緑化・環境改善に役立ててほしい。
スミエしあわせ基金 匿名希望の個人（神戸市） 240,000円（永続・分野指定）	分野：社会福祉 社会福祉事業に役立ててほしい。
美舟基金 斎藤美津子（成田市） 5,000,000円（永続・分野指定）	分野：盲導犬・聴導犬・介助犬関係 盲導犬、聴導犬、介助犬に関係する事業分野に役立ててほしい。
Le Cadeau des Loups基金 匿名希望の個人（福岡市） 1,130,000円（永続・分野指定）	分野：野生動物の保護、その生存環境の保全 野生動物およびその生存環境の保護・保全に役立ててほしい。 （2006年度に分野変更）

平井万佐治・悦子音楽振興基金 平井悦子氏（豊中市） 200,000円（永続・分野指定）	分野：クラシック音楽の振興 クラリネット奏者であった夫の音楽への情熱を引き継いで、クラシック音楽の振興と若い音楽家支援のため基金を設置したい。
匿名基金 No.13 匿名希望の個人（船橋市） 590,000円（期間2年・運営）	大阪コミュニティ財団の活動と運営を応援したい。
山崎ハナ・千太郎・文子子供基金 匿名希望の個人 4,920,000円（永続・分野指定）	分野：恵まれない子供たちの支援 ハナの遺志を継ぎ、恵まれない子供たちに少しでもお役に立ちたい。
双栄基金 飯田陽子氏（生駒市） 200,000円（永続・一般）	愛情こめて育ててくれた大おじ、大おば達に感謝の意を込めて、社会貢献活動に役立ててほしい。

2004年度(平成16年度)設置(13基金)

伊藤昇基金 増田直美氏（茨城県つくば市） 200,000円（永続・分野指定）	分野：教育支援 人生の師匠・恩人である伊藤昇先生に感謝の意を示すため、先生の名前をつけた基金をつくり、若い人たちを対象とした教育事業に助成したい。
木原隆がん基金（永続基金） 匿名希望の個人 306,374,668円（永続・分野指定）	分野：がんの研究助成、がん医療支援事業 癌の研究助成を主体にして、癌に関するシンポジウム、癌の予防セミナーなど、癌医療支援事業に役立ててほしい。
同（期間基金） 34,041,630円（期間10年・分野指定） （計340,416,298円）	
木原満智子眼医療基金（永続基金） 匿名希望の個人 153,187,334円（永続・分野指定）	分野：眼科医療の研究助成、視覚障がい者支援活動 眼科医療の研究助成を主体にして、“眼の不自由な人々を支援する”見地から、視覚障がい者支援のための活動事業にも役立ててほしい。
同（期間基金） 17,020,815円（期間10年・分野指定） （計170,208,149円）	
匿名基金 NO.14 匿名希望の個人（西宮市） 36,000円（永続・運営）	財団の運営を支援したい。
竹内鐵二学校・社会教育振興基金 太田陽子氏、西村小城子氏（千葉県船橋市） 600,000円（期間5年・分野指定） （2015年6月 一般基金に変更）	分野：学校・社会教育 地域：大阪府 教育者であった亡父の意志を体し、大阪府内における学校・社会教育の振興に役立ててほしい。
稲垣昇・さや基金 稲垣美代子氏・佳子氏（名古屋市） 5,000,000円（期間5年・分野・地域指定） （2015年6月 一般基金に変更）	分野：学校づくり 地域：アジア地域 亡き父母を偲んで遺産の一部で基金を設置。教育に関心の深かった心を活かして、アジア地域の学校づくりに役立ててほしい。
匿名基金 NO.15 匿名希望の個人（川口市） 500,000円（永続・運営）	財団の運営を支援したい。
災害救援活動支援基金 匿名希望の個人（堺市） 700,000円（期間2年・分野指定） （2010年6月 一般基金に変更） （2017年6月 期間・分野指定に変更）	分野：激甚災害の被災地域における活動 地震、台風（風水害）など天災による被害を受けた地域の復旧支援に貢献するボランティア活動、支援活動をバックアップしたい。
緒方弘文・信子基金 緒方弘文氏（東京都府中市） 50,000,000円（永続・分野・関与）	分野：国内外の教育振興等 国内外を問わず、恵まれない子ども・学生の教育振興・教育環境整備に役立てて頂きたい。

羽藤秀雄、ぬ系 教育基金 川奈部重子氏（千葉県船橋市） 1,000,000円（期間5年・分野指定） （2008年3月分野変更） （2015年6月 一般基金に変更）	分野：アジア（中国を除く）の子どもたちの教育支援 第二次世界大戦で若くして亡くなった父の名をつけた基金を設置し、父が戦ったアジアの地で、当地の子どもたちの教育費を支援する。
竹井利子謡曲・狂言基金 匿名希望の個人（東京都） 10,000,000円（永続・分野指定）	分野：謡曲・狂言振興 動の世の中に静を求めて基金を設置し、謡曲・狂言に関する取り組みを支援する。

2005年度(平成17年度)設置(6基金)

ふれあい基金 匿名希望の個人（河内長野市） 3,000,000円（期間15年・特定基金）	特定：社団法人家庭養護促進協会大阪事務所 一人でも多くの子どもがよい家庭に縁結びされて幸せになれるよう、家庭養護促進協会の支援事業（里親事業）に役立ててほしい（毎年20万円を15年間助成）。
鈴木フサ交通遺児福祉基金 鈴木フサ氏（大阪市） 20,000,000円（永続・分野指定）	分野：交通遺児の支援 「交通遺児福祉基金」を創設し、交通事故により遺児となられた方々を支える活動に役立ててほしい。
青少年人材育成支援「ひかりちゃん基金」 上小牧秀彦氏（大阪市） 32,436円（期間・分野指定）	分野：国内外の教育 人が心にともした“ひかり”を消さないように、将来ある青少年、子どもたちへの人材育成活動を支援したい。
花井耀一奨学基金（永続基金） 花井恵子氏（磐田市） 1,000,000円（永続・分野指定）	分野：定時制・通信制・専門学校等の学生支援 亡き夫の気持ちを活かして、希望に向かって努力している若い人を、少しでも支援したい。
同（期間基金） 1,500,000円（期間5年・分野指定） （計2,500,000円）	
酒谷早苗子・まり子基金 酒谷美穂氏（東京都） 100,000円（永続・分野指定）	分野：心のケアに携わる人を養成する教育活動 母の7回忌にあたり、心に関する分野の研究や支援体制づくりに寄与するため、心のケアに携わる人たちを養成する教育機関を支援する基金を設置する。

2006年度(平成18年度)設置(10基金)

商業界女性ゼミナル基金 商業界近畿女性同友会（大阪市） 3,200,000円（期間10年・分野指定）	分野：女性起（企）業家の輩出・育成を目的に、彼女たちを支援する団体が実施する催しや講座等の事業 女性起（企）業家が、企業家として正しい商人道を歩むことを願い、彼女たちが研鑽と交流を継続・発展的に行えるよう、「正しい商人を目指す女性たち」を支援したい。
飛翔子ども基金 飛翔会（新潟県妙高市） 300,000円（期間5年・分野・地域指定） （2011年3月 期間・地域を変更） （2015年6月 一般基金に変更）	分野：開発途上国の子どもの教育支援、および日本国内でのその啓発活動支援 新潟県の教員の有志グループが、次代を担う世界の子どもたちへの教育の一助となることを願い、開発途上国の子どもの教育支援に取り組んでいるボランティア団体の、海外への支援活動および国内での啓発活動を支援したい。
大阪コミュニティ基金（永続基金） 個人（西宮市） 80,640円（永続・一般）	地域：大阪府及びその周辺地域 大阪を中心とする地域における、多数の皆様の善意による、社会貢献のための地域の財産形成を目指す基金で、当財団が2006年6月に「共同基金」として設置した。
同（期間基金） 日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会 有志一同 87,000円（期間・一般）	この基金への寄付はいくらからでも受け、遺贈の申し込みも受ける。 一般基金であり、他の一般基金と同様、助成分野は当財団が決める。2021年4月助成および2022年4月助成については、「青少年の健全育成を図る活動」「多文化との共生を図る活動」「地域社会の活性化を図る活動」「芸術・文化の発展向上を図る活動」「環境の保護・保全を図る活動」の5分野に助成。

<p>タナカ医療（ガン及び難病）基金 田中加智子氏（豊中市） 5,000,000円（永続・分野指定）</p>	<p>分野：医療（ガン及び難病）研究助成 夫の5回忌にあたり、負け戦を勇敢に戦った夫の無念さを思い、ガン保険金をガン及び難病の研究助成に役立ててほしい。</p>
<p>江田直介・静子健やかな青少年育成基金 （永続基金） 江田直介・静子氏（箕面市） 1,000,000円（永続・分野指定） （2009年10月 分野変更） （2011年6月 基金名称及び分野変更）</p>	<p>分野：経済的に困窮した環境で、障がいを持ちながら勉学に励む生徒・学生への支援や、青少年の健全なる育成を目的とする各種活動を支援する。</p>
<p>同（期間基金） 77,131,577円（期間・分野指定） （計78,131,577円）</p>	
<p>酒谷長俊・悦基金 酒谷美穂氏（東京都） 100,000円（永続・分野指定）</p>	<p>分野：里親制度の充実に関わる方々または団体の事業 祖父の37回忌にあたり、里子を引きとり育てた祖父母の気持ちを思い起こし、名前を冠した基金を設けて里親制度の充実に役立てたい。</p>
<p>剛一基金 匿名希望の個人（松江市） 500,000円（期間5年・特定） （2015年6月 一般基金に変更）</p>	<p>特定：薩摩川内市立中津小学校 父の生まれ故郷 中津小学校の図書に充実に役立ててほしい。</p>
<p>光・秀・裕基金 太田裕子氏（高槻市） 328,786,991円（永続・分野・地域指定）</p>	<p>分野：難病研究助成 地域：関西地域 難病の研究助成に役立ててほしい。</p>

2007年度（平成19年度）設置（13基金）

<p>Sawaco基金 内藤佐和子氏（東京都） 70,000円（永続・分野指定）</p>	<p>分野：難病、とくに多発性硬化症の研究・啓蒙活動 自分と同様、難病に悩む人が減るように、研究・啓蒙活動に役立ててほしい。</p>
<p>難病対策基金（永続基金） 江田直介氏（箕面市） 100,000円（永続・分野指定） （2009年10月 分野指定に変更）</p>	<p>分野：難病患者を支援する団体の活動を支援 難病と闘っている患者と家族による団体の活動を支援したい。</p>
<p>同（期間基金） 5,000,000円（期間10年・分野指定） （計5,100,000円）</p>	
<p>ばんちゃん さわやか基金 坂東亮二氏（柏原市） 10,000,000円（永続・一般）</p>	<p>母の死去により相続した財産で、何か社会に貢献する方法がないか、探していたところ、出口正之さんの著書「フィランソロピー」で貴財団を知り、興味を持ちました。助成先は貴財団に一任します。有効にご活用ください。</p>
<p>医療被害者支援基金（永続基金） 横山千尋氏（八王子市） 300,000円（永続・分野指定）</p>	<p>分野：医療被害者を支援する活動 医療被害を受けた父の無念な思いを無駄にせず、活かすために、その謝罪金を役立てたい。</p>
<p>同（期間基金） 800,000円（期間8年・分野指定） （計1,100,000円）</p>	
<p>RE 地球再生 RE-EARTH 基金 株式会社 RE（大阪市） 152,814円（永続・分野・地域指定）</p>	<p>分野：環境の保護・保全 地域：大阪 地球環境の再生と保護に対して活動する団体（事業）を支援することにより、企業としての社会貢献がしたい。また、REの従業員有志からも寄付を合わせることで、RE全体で環境と地域社会に貢献したい。“Rejuvenating the Earth”</p>

<p>西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部 地域活性化支援基金E 西日本高速道路サービス・ホールディングス 株式会社（大阪市）及び同倶楽部会員会社 89,940,800円 （期間5年・分野指定・関与） （2009年10月 基金名称変更） （2011年6月 基金名称変更及び地域変更） （2015年6月 一般基金に変更）</p>	<p>分野：地域の活性化・振興支援等 地域：西日本 人々の交流を推進する活動、自然と人間が共生する活動、環境 への負荷を緩和する活動、障がいを持つ人々を支援する活動等、 地域を元気にする様々な活動に助成する。</p>
<p>西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部 地域活性化支援基金A 西日本高速道路サービス・ホールディングス 株式会社（大阪市）及び同倶楽部会員会社 10,000,000円 （期間5年・分野及び地域指定・関与） （2008年6月 基金名称及び分野変更） （2009年10月 基金名称及び地域変更）</p>	
<p>西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部 地域活性化支援基金B 西日本高速道路サービス・ホールディングス 株式会社（大阪市）及び同倶楽部会員会社 10,000,000円 （期間5年・分野及び地域指定・関与） （2008年6月 基金名称及び分野変更） （2009年10月 基金名称及び地域変更）</p>	
<p>西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部 地域活性化支援基金C 西日本高速道路サービス・ホールディングス 株式会社（大阪市）及び同倶楽部会員会社 10,000,000円 （期間5年・分野及び地域指定・関与） （2008年6月 基金名称及び分野変更） （2009年10月 基金名称及び地域変更） （2015年6月 一般基金に変更）</p>	
<p>前田 哲基金 前田 哲氏（大阪市）、前田敬三・トミ子氏 （愛知県愛知郡） 5,070,000円（期間5年・分野指定）</p>	<p>分野：日本以外の地域の学校建設・運営の支援 教育にかかわる仕事をしてきたため。</p>
<p>田淵ちかこ がん研究基金 匿名希望の個人（大阪市） 5,000,000円（期間3年・分野指定）</p>	<p>分野：がん医療研究・対策の支援 「抗がん剤治療の進歩と専門医の育成」「患者の立場に立った 医療」を強く願いつつも、大腸がんの抗がん剤治療による副作用 に苦しみ、寿命を縮めることになった故田淵ちかこ氏の遺志を遂 げるため寄付をしたい。</p>

2008年度(平成20年度)設置(5基金)

<p>西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部 地域活性化支援基金D 西日本高速道路サービス・ホールディングス 株式会社（大阪市）及び同倶楽部会員会社 500,000円（期間5年・分野指定） （2009年10月 基金名称及び分野変更）</p>	<p>分野：地域の活性化・振興支援等 地域：西日本 人々の交流を推進する活動、自然と人間が共生する活動、環境 への負荷を緩和する活動、障がいを持つ人々を支援する活動等、 地域を元気にする様々な活動に助成する。</p>
---	--

大塚伸二児童養護施設奨学基金 大塚伸二氏（大阪市） 15,000,000円（期間10年・分野指定） （2015年6月 基金名称及び分野の変更）	分野：恵まれない児童養護施設入居中学生の高校進学のため、奨学金を支給
大塚伸二奨学基金 大塚伸二氏（大阪市） 15,000,000円（期間10年・分野指定）	分野：恵まれない中学生の高校進学支援 思わぬ不幸で高校進学を断念せざるを得ない少年を高校に進学させてあげたい。
匿名基金 NO.16 匿名希望の個人（豊中市） 1,000,000円（期間5年、一般）	このたびゴルフでホールインワンを達成したので、その喜びを記念品の作製ではなく、社会に役立てることで表したい。
大塚伸二 大阪三大学基金 大塚伸二氏（大阪市） 15,000,000円（期間10年・分野指定）	分野：在阪3大学の理系学生への支援 大阪市立大学・大阪府立大学・大阪大学の理系に学ぶ学生を応援したい。

2009年度（平成21年度）設置（7基金）

大阪信用金庫ふれあいスマイル基金 ※6 大阪信用金庫（大阪市） 16,507,095円 （期間3年・一般・地域指定）	地域：大阪府下 創業90周年に際し、地域貢献活動の一環として社会貢献の一助としたい。
野の花友愛基金 山口淑子氏（群馬県高崎市） 11,000,000円（期間5年・特定）	特定：NPO法人シャブラニール＝市民による海外協力の会など11団体 社会福祉活動や海外で社会貢献活動を行う団体を支援したい。
だいしんビジネスふれあいスマイル基金 だいしんビジネスサービス株式会社（大阪市） 1,925,916円（期間・一般・地域指定）	地域：大阪府下 大阪信用金庫創業90周年に際し、地域貢献活動の一環として社会貢献の一助としたい。
広汎性発達障害者支援基金 星野和明氏（静岡県藤枝市） 300,000円（永続・分野指定）	分野：社会福祉の増進 広汎性発達障害（自閉症やアスペルガー症候群等）の早期発見・支援教育・就職支援に貢献したい。
シャレドワ基金 株式会社TAT（西宮市） 32,162円（期間・分野指定）	分野：青少年の健全育成 青少年の健全育成を支援したい。
匿名基金NO.17 匿名希望の個人（豊中市） 1,000,000円（期間5年、一般）	叙勲に浴したことにより頂戴したご厚志の一部を社会に役立ててほしい。
小宮林書道基金 個人（大阪市） 4,553,887円（永続・分野・地域指定）	分野：書道の振興 地域：枚方市及びその周辺地域 書道関係で枚方市及びその周辺地域に恩返ししたい。

2010年度（平成22年度）設置（13基金）

Koto Syoko,JAPAN基金（永続基金） 古登正子氏（千葉県我孫子市） 1,500,000円（永続・分野・地域指定）	地域：ネパール、カンボジア、ミャンマー、アフガニスタン、ケニア、ウガンダ、タンザニア 上記地域の恵まれない子どもたちの教育、生活、医療支援などに役立ててほしい。
匿名基金 NO.18 匿名希望の個人（宮崎県延岡市） 1,000,000円（期間・分野・地域指定） （2018年6月 助成内容および助成地域変更）	分野：芸術文化の発展向上 地域：福島県いわき市 福島県いわき市の中学校・高校における琴・三弦・十七弦のサークル活動を支援
タケイ基金 匿名希望の個人（東京都） 33,000,000円（永続・分野指定）	分野：医療医学の研究 がんの研究に少しでも役立ててほしい。
セバタン環境基金 株式会社スタジオフェイク（神奈川県川崎市） 100,000円（期間・分野指定）	分野：環境の保護保全 エコキャラクター「セバタン」の売り上げの一部を子どもが関与する環境活動に還元したい。

匿名基金 NO.19 匿名希望の個人（枚方市） 1,100,000円（永続・運営）	大阪コミュニティ財団の活動に役立ててほしい。
匿名基金NO.20 匿名希望の個人（守口市） 1,000,000円（永続・分野指定）	分野：社会福祉の増進 未来の日本をになう子どもの安全・安心を支援したい。
西川真文・睦栄基金 ※7 西川睦栄氏（神戸市）、 西川真文一般社団法人（神戸市） 1,000,000円（期間・分野指定）	分野：青少年の健全育成 困っている子どもや青少年に対して奉仕の心をもって活動している団体や、学業の継続が困難な子どもや青少年に助成することで、社会への恩返しとしたい。
金沢好子がん研究基金 谷口淑子氏（堺市） 2,000,000円（期間・分野指定） （2015年6月 一般基金に変更）	分野：医学医療の研究 肺がん研究を支援したい。
真中基金 真中光博氏（神奈川県横浜市） 60,000円（期間・一般） （2012年9月基金名称変更） （2014年9月基金名称変更） （2019年3月基金名称変更）	現存する法律や支援制度では援助することができない方々を支援する団体に助成したい。
秋田佳津さする庵基金 秋田美津子氏（大阪市） 325,000円（期間・分野指定）	分野：社会福祉の増進 恵まれない子どもたちを支援したい。
秋田佳津ザンマイムイ基金 秋田美津子氏（大阪市） 325,000円（期間・分野指定）	分野：社会福祉の増進 高齢者の福祉を支援したい。
えがお基金 司法書士佐井恵子事務所（大阪市） 588,079円（期間・分野指定）	分野：社会福祉の増進 お年寄りや青少年のための施設や病院、あるいはボランティアの方々を支援したい。
大阪府教員研修支援のための梶本基金 ※8 梶本興亜氏（豊中市） 30,000,000円（期間・関与）	分野：大阪府の先生方の研修支援 大阪府の先生方の自主的研修や研修会への参加、あるいは、先生方のための研修事業に役立ててほしい。

2011年度（平成23年度）設置（10基金）

松本ヒロ子奨学基金 松本ヒロ子氏（三重県桑名市） 128,114,463円（永続・分野指定）	分野：社会教育・学校教育の充実 地域：三重県桑名市 三重県桑名市の公立高等学校への奨学金の支給、図書購入等教育を支援したい。
竹林保全基金 株式会社岩本金属製作所（大阪市）、有限会社 モットズット（吹田市） 10,000円（期間・分野指定）	分野：環境の保護・保全 放置竹林による竹害を解決したい。竹林の保全に従事される方の活動に役立ててほしい。
故宮本久子交通遺児育英基金 宮本久子氏（兵庫県西宮市） 38,657,602円（期間・分野・地域指定）	分野：社会福祉の増進 地域：大阪府、兵庫県 交通遺児を支援したい。
財団運営基金 匿名希望の個人（河内長野市） 100,000円（期間・運営）	財団の運営が少しでも楽になればと思う。
京友記念基金 匿名希望の個人（大阪市） 250,000円（永続・分野指定） （2016年3月 永続基金に変更）	分野：青少年の健全育成 大阪府常勤監査委員京極俊明先生のご退官を記念し、先生のご意志を引き継いで、青少年の健全育成に役立てたい。

京友・良子記念基金 匿名希望の個人（大阪市） 10,000円（期間・運営）	大阪府常勤監査委員京極俊明先生のご退官を記念し、財団の運営に役立てたい。
京友・長太記念基金 匿名希望の個人（大阪市） 100,000円（期間・運営）	大阪府常勤監査委員京極俊明先生との邂逅によって生じた社会改良への熱き思いを貴財団に信託したい。
元朝会教育振興基金 財団法人 元朝会（大阪府岸和田市） 34,015,334円（期間・分野・地域指定）	分野：青少年の健全育成、社会教育・学校教育の充実 岸和田市立産業高等学校ほか、岸和田市を中心とする地域の学校の図書購入費ほか教育上必要な備品等の購入費用、クラブ活動振興、海外との交流事業への助成に充ててもらいたい。
東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金 匿名希望の個人（東京都） 201,604,226円（期間・関与）	分野：震災等復興支援 東日本大震災または原発災害からの復旧・復興活動に対する支援を行いたい。
東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金対応運営基金 ※9 匿名希望の個人（東京都） 10,080,402円（期間・運営）	東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金による活動をモニタリングするとともに、優れた活動を普及したい。

2012年度（平成24年度）設置（7基金）

真泉育英基金 匿名希望の個人（秋田県秋田市）※10 25,000,000円（期間・分野・地域指定）	分野：青少年の健全育成 地域：秋田県 向学心に燃えるものの、経済的に困難な状況にある秋田県内の高校生に奨学金を支給したい。
大阪厚生信用金庫地域・社会貢献基金 Co-Seiふれあい基金（大阪市） 800,000円（期間・分野・地域指定） （2013年6月 地域変更）	分野：青少年の健全育成 地域：大阪市 大阪市内における地域の子供たちを育む活動を支援したい。
匿名基金 NO.21 匿名希望の個人（大阪市） 80,000円（期間・分野指定）	分野：環境の保護・保全 環境の保護・保全に役立ててほしい。
東日本大震災復興基金 匿名希望の個人（静岡県浜松市） 10,000,000円（期間・分野指定）	分野：震災復興支援 東日本大震災復興の活動を支援したい。
人工透析患者対策支援基金 匿名希望の個人（静岡県浜松市） 6,000,000円（期間・分野指定）	分野：医療研究・対策の支援 常に透析患者に寄り添い、支える活動をしている団体を支援したい。
子供の難病対策支援基金 匿名希望の個人（静岡県浜松市） 2,000,000円（期間・分野指定）	分野：医療研究・対策の支援 子供の難病対策への取り組みを支援したい。
知的障害児支援基金 匿名希望の個人（静岡県浜松市） 2,000,000円（期間・分野・地域指定）	分野：社会福祉の増進 地域：大阪府池田市 池田市で知的障害児を支える施設や団体を支援したい。

2013年度（平成25年度）設置（3基金）

篠田重児障がい者大学進学助成基金 ※11 匿名希望の個人（福岡市） 135,000,000円（期間・分野・地域指定）	分野：青少年の健全育成 地域：京都府、福岡県 障がいのある高校生の大学進学を支援したい。
ありがとう初基金 奥野房子氏（大阪市） 1,200,000円（期間・分野指定）	分野：社会福祉の増進 障がい者が生き、勉強する手助けをしたい。

山口淑子友愛基金 山口淑子氏（群馬県高崎市） 171,545,339円（期間・分野指定）	分野：社会福祉の増進 社会福祉の増進に寄与したい。
--	------------------------------

2014年度(平成26年度)設置(7基金)

大阪スポーツ振興基金 ※12 大商テニス部（大阪市） 1,000,000円（期間・分野指定）	分野：健康増進、健全育成の支援 スポーツ文化の振興、健康・体づくりを支援したい。
匿名基金 NO.22 匿名希望の個人（大阪市） 100,534,425円（期間・一般指定）	分野：一般 亡父の遺志により、公益目的に活用してほしい。
世界を変えるTシャツプロジェクトFBWorld阿部ユウイチ基金 阿部祐一氏（神奈川県川崎市） 10,000円（期間・分野指定）	分野：開発途上国への支援活動 児童労働問題の解決に役立てたい。
あきりん基金 飯田陽子氏（大阪府富田林市） 1,000,000円（永続・分野指定）	分野：医療研究・対策の支援 小児がん研究、小児がん闘病児を支援したい。
ばばちゃん基金 ※13 木所 淳氏（横浜市） 3,500,000円（期間・分野指定）	分野：医療研究・対策の支援 がん患者（その家族・遺族を含む）や、がん医療を支援する活動に役立ててほしい。
谷口淑子子ども支援基金 谷口淑子氏（堺市） 500,000円（期間・分野指定）	分野：社会福祉の増進 親を亡くした子供を支援したい。
谷口順一郎肺結核撲滅運動基金 谷口淑子氏（堺市） 500,000円（期間・分野指定）	分野：医療研究・対策の支援 肺結核を撲滅する活動を支援したい。

2015年度(平成27年度)設置(6基金)

トップデータサイエンティスト育成基金 高田勝裕氏（東京都） 1,000,000円（期間・分野指定）	データサイエンティストの育成（中・高・大学生を対象に行う、統計やデータサイエンスに関する教育活動）を支援したい。
大内典明・恵子子ども基金 ※14 大内恵子氏（大阪府吹田市） 10,000,000円（期間・分野指定）	経済的な理由で機会が失われようとしている子ども達の学習・自立を支援したい。
大内典明・恵子災害復興支援基金 大内恵子氏（大阪府吹田市） 5,000,000円（期間・分野指定） （2015年6月 基金の名称および助成内容の変更）	自然災害による被災地の子育て中の母親や青少年の育成・支援
大内典明・恵子医療基金 大内恵子氏（大阪府吹田市） 5,000,000円（期間・分野指定）	がんや難病治療に関する研究および患者を支援したい。
篠田重晃進学助成基金 匿名希望の個人（福岡市） 30,000,000円（期間・分野/地域指定）	沖縄県の公立高校で向上心を持って勉学に励み、経済的援助があれば将来を切り開いていく能力・気骨を持ち合わせている人の進学に対して助成したい。
明るい未来ひろ基金 齋藤廣嗣氏（大阪府守口市） 10,000,000円（期間・分野指定）	恵まれない、また、障がいのある子どもたちを支援したい。

2016年度(平成28年度)設置(4基金)

たかはぎあつし基金 高萩厚氏（東京都） 10,000円（期間・分野指定）	多くの子らに日本はじめ世界の未来を担うかけがえのない人間になっていただきたい。その支援のために基金を寄せたい。
--	---

谷口公代動物基金 ※15 谷口公代氏（大阪市） 4,000,000円（期間・分野指定）	飼育放棄された可愛そうな犬、猫および小動物の保護活動を実施している団体を支援したい。
谷口公代環境基金 谷口公代氏（大阪市） 1,000,000円（期間・分野指定）	森林等の保全および緑化の推進を支援したい。
大井昌子奨学基金 匿名希望の個人（大阪府堺市） 5,000,000円（期間・分野指定）	亡き母が生涯現役として薬剤師を務めたことを思い、後に続く学生たちを支援したい。

2017年度（平成29年度）設置（7基金）

石黒美代子・まさみ青少年育成基金 石黒孝芳氏（大阪府守口市） 5,000,000円（期間・分野指定）	将来の社会を背負う青少年の育成を支援したい。
石黒美代子・まさみ芸術文化基金 ※16 石黒孝芳氏（大阪府守口市） 5,000,000円（期間・分野指定）	将来の芸術文化の発展を支援したい。
谷口公代奨学基金 谷口公代氏（大阪市） 10,500,000円（期間・分野指定）	向学心に燃え、大学進学を目指し勉学に励むものの、経済的に厳しい環境にある高校2、3年生に奨学金を支給したい。
絵本の基地をつくろう基金 合同会社マナブル（大津市） 100,000円（期間・分野指定）	近畿圏の児童養護施設等における絵本や児童書、図鑑の購入、読み聞かせ活動を支援したい。
NPO法人日本アトピー協会ささえあい基金 NPO法人日本アトピー協会（大阪市） 1,000,000円（期間・分野指定）	アレルギー諸疾患に対して学会の治療ガイドラインに沿った活動をしている団体を支援したい。
森田千里雄環境保護基金 森田千里雄氏（神戸市） 3,000,000円（期間・分野指定）	環境の保護・保全
CPC中本基金 中本正規氏（大阪市） 100,000円（期間・運営）	大阪コミュニティ財団の運営を支援したい。

2018年度（平成30年度）設置（3基金）

葵 漆畑基金 漆畑徹也氏、漆畑芳江氏（静岡県） 1,000,000円（期間・分野指定）	開発途上国や紛争地で活動する方のお手伝いをしたい。
匿名基金 NO.23 匿名希望の有志（東京都） 83,167円（期間・分野指定）	大阪の地震災害をはじめ西日本災害の一助になれば。
石本記念デサントスポーツ振興基金 公益財団法人石本記念デサントスポーツ 科学振興財団（大阪市） 2,000,000円（期間・分野指定）	地域：近畿2府4県 地域の草の根的なスポーツ活動を応援したい。健常者、障がい者を問わない。

2019年度（令和元年度）設置（3基金）

國吉 史 がん基金 國吉 史氏（高知県） 15,000,000円（期間・分野指定）	地域：西日本 希少がんの研究に役立ててほしい。
國吉 史 子ども福祉基金 國吉 史氏（高知県） 15,000,000円（期間・分野指定）	小学校の養護教員をしていたので、恵まれない、あるいは障害のある子どもの為になることに使ってほしい。

JM基金 田矢壽八郎氏（滋賀県大津市） 2,000,000円（期間・分野指定）	奨学金の支給。看護師、検査技師等医療関係の学校に進学する学生を支援したい。
---	---------------------------------------

2020年度(令和2年度)設置(5基金)

にいがたふるさと基金 匿名希望の個人（宮城県仙台市） 70,000円（期間・分野指定）	経済的困窮の境遇にある生徒に奨学金を支給。
サンガ岩手復興支援基金 NPO法人サンガ岩手（岩手県盛岡市） 400,000円（期間・分野指定）	地域：岩手県、宮城県、福島県 東日本大震災における復興支援活動
堺筋アメニティ・ソサエティ基金 堺筋アメニティ・ソサエティ（大阪市） 2,046,929円（期間・分野指定）	地域：関西、大阪 「まちの賑わい創造」や「快適なまちづくり」など、まちに人をひきつける魅力づくりの活動を支援
匿名基金 NO.24 匿名希望の個人（大阪市） 100,000円（期間・分野指定）	恵まれない子どものために役立ててほしい。
相根喜光・ふき子基金 中岡千鶴子氏（大阪府摂津市） 10,000,000円（期間・分野指定）	医学医療活動全般の支援に役立ててほしい。

2021年度(令和3年度)設置(2基金)

(8月末まで)

外国人生徒スポーツチャレンジ奨学金 高江直哉氏（大阪府） 10,000円（期間・分野指定）	ブラジル等海外から日本の高校に野球留学する生徒に奨学金を支給する。
米田利雄記念教育基金 米田幸雄氏（大阪府堺市） 2,200,000円（期間・分野指定）	和泉市立小学校の教育支援として、1校当たり50万円を毎年2校に助成する。

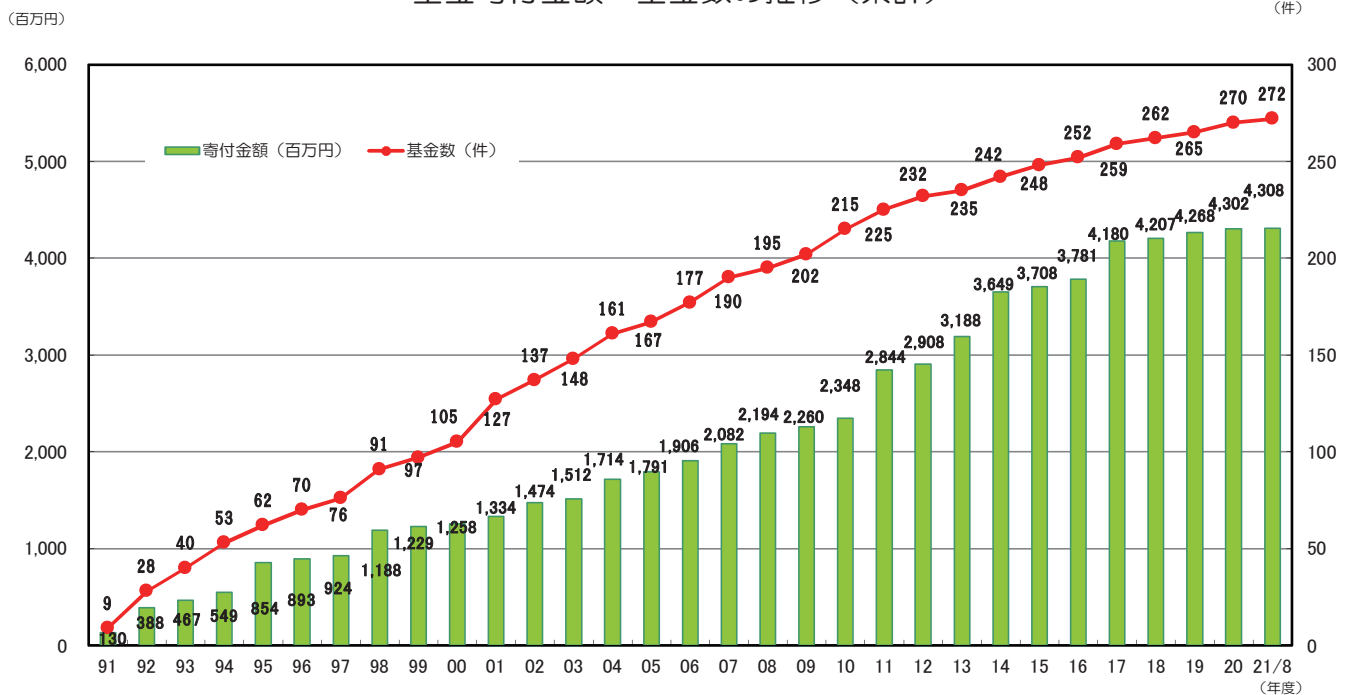
遺贈の申込み

2021年8月末までにいただいた遺贈のお申込みは、次の通り。（基金に移行したものは除く。）

申込年度	申込者	お志
1998年度 （平成10年度）	遺贈 NO.5 生存中匿名希望の個人（東京都）	夫婦連生基準での遺産（含む、年金・生命保険金）を遺贈し、既に設置している基金への積増しを行いたい。
2001年度 （平成13年度）	遺贈 NO.7 生存中匿名希望の個人（東京都）	既設の基金に追加積増したい。
2003年度 （平成15年度）	遺贈 NO.8 生存中匿名希望の個人（東大阪市）	動物愛護に役立ててほしい。
2004年度 （平成16年度）	遺贈 NO.10 生存中匿名希望の個人（埼玉県川口市）	亡き家族の頭文字を冠した基金を設置、自然環境の保護に役立ててほしい。
2005年度 （平成17年度）	遺贈 NO.12 生存中匿名希望の個人（高槻市）	世界のストリートチルドレンの救済に役立ててほしい。
2007年度 （平成19年度）	遺贈 NO.15 生存中匿名希望の個人（高槻市）	難病で亡くなった主人の志を継いで、難病で苦しむ子供たちのために役立ててください。
2008年度 （平成20年度）	遺贈 NO.16 生存中匿名希望の個人	既設の基金に追加、積み増したい。恵まれない子供たちを支援したい。

2010年度 (平成22年度)	遺贈 NO.18 生存中医名希望の個人(神戸市)	医学の発達のため、大学の医学部に学ぶ学生を支援したい。
	遺贈 NO.19 生存中医名希望の個人(大阪市)	ドラッグラグ問題の解決に役立てるとともに、難病学生の奨学金を支給したい
2011年度 (平成23年度)	遺贈 NO.20 生存中医名希望の個人(西宮市)	西宮市の恵まれない子どもたちや高齢者の社会福祉の向上
	遺贈 NO.21 生存中医名希望の個人(枚方市)	一般基金
2012年度 (平成24年度)	遺贈NO.22 生存中医名希望の個人(大阪市)	身体障害者の福祉支援
	遺贈NO.23 生存中医名希望の個人(西宮市)	親のいない子どもや経済的事情により進学が困難な子どもに対する支援
2013年度 (平成25年度)	遺贈 NO.25 生存中医名希望の個人(西宮市)	医療で苦しんでおられる患者さんのお役にたきたい。
2020年度 (令和2年度)	遺贈 NO.26 生存中医名希望の個人(大阪市)	恵まれない子どものために役立ててほしい。

基金寄付金額・基金数の推移（累計）



基金設置者からのメッセージ

(敬称略)

「環境の保護・保全」

※1 大輪ふれあい基金（1991年度設置）

設立30周年、誠におめでとうございます。

私どもは、「大輪会（だいらんかい）ふれあい基金」を通じて、共に地域貢献活動に参画しておりますが、貴財団の学術研究・芸術文化振興から教育、環境保全など多岐にわたる真摯な活動が、多くの社会貢献・発展に繋がっていることは周知の事実であります。こうした成果は、ひとえに関係者の皆さまの努力の賜物であり、心より感謝と敬意を表します。

私どもは、「自然と人間の共生」という花博の理念から発足しましたが、「大輪」の名には、大きな花を咲かせよう、人が変わっても、ちゃんと手入れをすれば、毎年素晴らしい花が咲くという意味が込められています。これからも、地元関西の発展と活性化に、貴財団とともに取り組むことを誓い、お祝いの言葉とさせていただきます。

りそな銀行 大輪会 事務局長 石井潤詞

「社会教育・学校教育の充実」

※2 フジキン小島・小川科学教育振興基金（1991年度設置）

宇宙開発関連機器、半導体製造装置部品メーカーであるフジキン 故・小島 敏会長の功績顕彰事業の一環としてスタートした「フジキン小島・小川科学教育振興基金」。

大阪商工会議所様からのご紹介により、日本初のコミュニティ財団の第1号に登録の栄誉を賜り、1992年3月に大阪コミュニティ財団に創設して頂きました。それ以来、長年にわたり地元の大学・高専様を主体に継続して図書を寄贈し、理工系学生様の育成貢献のための助成を推進していただき誠にありがとうございました。

お蔭様をもちまして、フジキンの人事・採用関連でお世話になっております大学・高専様を中心に、多くの皆様とご親交を常日頃から深めることができ、重ねてお礼申し上げます。

今後とも、理工系をはじめとする学生様の育成貢献の一助となるため、図書の寄贈と賛助会員としての役割を果たしてまいりますので、引き続きのご指導、ご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

株式会社フジキン 特別顧問 小川 洋史

「地域社会の活性化」

※3 大阪シティ信用金庫 せんだぎ基金（1991年度設置）

貴財団が設立30周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。わが国初のコミュニティ財団として、これまで多くの個人、団体への助成を通して、社会貢献活動において大きな功績を上げてこられました。

協同組織金融機関である当金庫は相互扶助の精神のもと、平成4年に地域の文化・スポーツの振興を目的とした「大阪シティ信用金庫せんだぎ基金」を設置し、貴財団のご協力ご尽力により、多くの個人、団体に助成をしていただきました。

近年注目されるSDGsは、当金庫の三者共栄理念と貴財団の設立趣意を同じくするもので、それぞれの発展がSDGsの実現につながると確信しています。今後も貴財団が支援を必要とする人々に寄り添い、一層の飛躍を遂げられますことを祈念いたします。

大阪シティ信用金庫 理事長 高橋 知史

「一般基金」

※4 柏岡精三記念基金（1995年度設置）

私の祖父、柏岡精三が長年務めていました株式会社関西テック（現：株式会社かんでんエンジニアリング）会長職を1995年に退いた際、これまで支えていただいた方々への恩返し、また次代を担う「青少年の育成」のためにお役に立てていただきたい、との思いから、退職金の一部で大阪コミュニティ財団に基金を設立させていただいたと聞いております。

基金設立後は青少年育成のみならず、日本の伝統文化や芸術の啓発活動、人材育成を行っている団体やスポーツを通じての世代間交流を後押ししている団体、外国人との交流支援団体など、様々な分野で活動されている団体の事業を支援いただきました。おかげさまで生前の想いが実を結び、祖父もきつと喜んでいと思います。

今後とも大阪コミュニティ財団を通じて、将来を担う青少年の育成や芸術、文化の振興など社会貢献活動の一助になればと思っています。

柏岡 幸雄

「社会福祉の増進」

※5 日産化学大阪福祉基金（1998年度設置）

このたび、大阪コミュニティ財団が設立30周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。学術研究の振興、芸術文化の発展向上、環境の保護保全、国際交流の推進など、様々な地域へ貢献されていることに敬意を表します。弊社は社員と会社が毎月同額の積み立てを行い（名称：日産化学福祉基金）、各拠点にて、有意義に使用して頂ける場所に寄付をしています。まことに些少ではありますが、お役に立てていることを大変うれしく思っています。今後なお一層地域のニーズに合う助成活動を行い、地域社会の振興に取り組まれることを期待申し上げます。未筆ながら、大阪コミュニティ財団の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

日産化学労働組合大阪分会長 山路 佳亮
日産化学株式会社大阪営業部長 向出 整司

「一般基金」

※6 大阪信用金庫ふれあいスマイル基金（2009年度設置）

設立30周年誠におめでとうございます。

日頃より青少年の健全育成並びに地域活性化など当金庫の経営方針に沿った助成先を選定いただき感謝申し上げます。

また、助成事業発表会では各団体の皆様の熱い想いに毎回感銘を受けております。

当金庫は創業90周年を記念して2009年に貴財団に「大阪信用金庫ふれあいスマイル基金」を設置し、社会貢献活動の一環としてマッチングギフト方式による寄付を毎年実施しております。

これからも役職員の善意による寄付金が様々な地域課題解決の一助となり、地域社会の繁栄に寄与できれば幸いです。

今後も貴財団の運営に、当金庫も「この街のホームドクター」として微力ながら貢献させていただき所存でございますので、末永いお付き合いの程宜しく願いいたします。

大阪信用金庫 理事長 高井 嘉津義

「青少年の健全育成」

※7 西川真文・睦栄基金（2010年度設置）

大阪コミュニティ財団を知るきっかけになったのは、当法人設立から関係のある司法書士法人のご紹介でした。当法人は子供たちの健全な成長に貢献したいという設立者の強い思いを形にした社会事業団体です。戦後、母子寮や保育事業などをされ、長きにわたり子供たちに心を砕いてこられた設立者の「出来ることなら働きたい、社会に貢献したい」という強い気持ちから設立されております。主たる寄付先以外を広く知るために基金を貴財団にも作らせていただきました。助成先は大変興味深く、強い気持ちを形に、続けることで意義と未来を作られて行く素晴らしい原動力を皆様を感じております。日の当たらない処にも少しでも手が届くように多様性のある大阪コミュニティ財団で今後もあり続けてほしいと願っております。

西川真文・睦栄一般社団法人 代表 中井 和佳子

「社会教育・学校教育の充実」

※8 大阪府教員研修支援のための梶本基金（2010年度設置）

大阪コミュニティ財団は、日本の寄付文化の発展に先鞭を付けた先見性のある組織であります。寄付の志を持つ人々に、少額であってもその気持ちを生かすことの出来る仕組みを拓きました。財団の提案者、理事会そして事務局のご努力に心からの敬意を表します。

世話をしていました伯母が亡くなり、遺贈された遺産の使い道を考えていた時にこの組織を知りました。常々、教育は未来を作る仕事であり、それに携わる先生方は未来を生む母であると思っていましたので、自主的に研修される先生方の気持ちと機会を支援したいと願っていました。自治体が先生方への支援を減らす中、私はこの財団にその気持ちを託しました。

この10年、財団のご努力でよい支援ができてきた事が嬉しく思います。財団に感謝しつつ、増々のご発展を心より願っています。

梶本 興亜

「災害復興活動支援」

※9 東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金（2011年度設置）

母の遺産で東日本大震災の被災者や原発事故被害者の支援団体への支援を社会貢献分野とする関与基金（助成先について寄付者が希望を述べる事ができる基金）及び助成先をモニタリングし模範的活動を広く知らせるため運営基金（財団の運営に使用する基金）の二つの基金を設置していただきました。

成果発表会や交流会を通じて支援団体の活動実態を知ることができ、基金の社会貢献を実感できました。選考委員及び事務局のご尽力のお陰です。

執筆に際し寄付申込書や助成先選定書類に目通し、寄付者は妥当な意思内容を適切に伝えてきたか見直したいと思いました。災害対応の寄付申込内容や状況変化に応じた寄付者の関与のあり方についても運営基金を通じて参考になる発信があるとよいと思います。

匿名

「奨学金の支給」

※10 真泉育英基金（2012年度設置）

余命宣告を受けた姉の依頼で基金設立に動いていた時に、貴財団に出会いました。

真泉育英基金は、学ぶ意欲はありながら経済的に困窮している高校生を支援する給付型育英基金です。資金は、50代で亡くなった姉が働いたお金から、更に2020年に87才で亡くなるまで仕事で現役だった母も加わりました。

「社会から頂いたものは社会に還元する」の考えを母から学んだ姉や私には、基金設立は自然なことでしたが、個人での立ち上げは困難。それ故、設置者の志を大事に運営して下さる貴財団はありがたいです。

また、母は大阪出身ですが、奨学金の給付先は秋田市の高校生。支給先が大阪以外にも関わらず設置を承認して下さり心から感謝致します。貴財団の理念は格差社会の中、大変尊いです。更なるご発展をお祈り致します。

小泉 まき子

※11 篠田重晃障がい者大学進学助成基金、篠田重晃進学助成基金（2013年度設置）

亡くなった夫が、生前より基金の設立を希望していました。初盆のお参りに来てくださった友人が、大阪コミュニティー財団について紹介していただき、夫の姉と2人で初めて訪問しました。

障がいがありながら勉学に励み、自分の人生を切り拓き、一定の知名度、財産を得た夫は、57歳の人生半ばで亡くなりました。その夫が望んでいたのが、様々な障がい者の方が、経済難から大学進学を諦めることのないよう、奨学金を支給する基金の設立でした。

基金設立にあたっては、細かな点まで、様々な助言をいただきました。また、奨学金を支給されている学生さんからは、年数回、大学生活についての作文が届きます。家族の生活難、大学生活での苦勞、卒業後の人生に向けての努力など、我が子を育てているような感覚で読んでいます。有り難いことです。

大阪コミュニティー財団では資金の運用により、原資を減らすことなく、原資すべてを奨学金として支給できています。また、奨学生の募集・選考など、すべてを引き受けてくださって、感謝しています。引き続き、今の体制が継続されることを望みます。

篠田 純子

「健康増進・健全育成の支援」

※12 大阪スポーツ振興基金（2014年度設置）

財団設立30周年おめでとうございます。

大阪商工会議所の職員有志が昭和30年代半ばからクラブ活動として続けてきたテニス部を7年前に解散し、その残余財産で期間基金を部員の総意により設置しました。テニスに限定せず、いろいろなスポーツの振興、スポーツを通じた幅広い世代の健康増進・体力づくりを支援するのが目的です。

前回のオリンピックを機に東京で半世紀を超えて開催されているウォーキング大会、幼児から大人まで参加できる北海道の多種目スポーツ体験会等の開催、その仲間づくりや交流活動等に延べ8回の助成を行ってきました。

今年はコロナウィルスの世界的な感染が終息しない中、わが国二度目のオリンピックが開催され、新しい競技や障がい者スポーツにも関心が高まりつつあります。

私たちのような少額の基金でも目的に沿った活動の役に立てばうれしいので、今後も「寄付者の志と地域が求める多様な社会貢献活動をつなぐ」役割を担っていただきたいと思います。

(匿名)

「難病対策・医療患者支援」

※13 ばばちゃん基金（2014年度設置）

私が大阪コミュニティ財団に基金を設置するきっかけとなったのは、祖母の遺産相続でした。祖母の遺産を寄付することを考えていたところ、「大阪コミュニティ財団」の存在を知りました。

私は30年ほど前に父をガンで亡くして、その時の私たち家族の悲しみは深く、『ガン』という病を恨みました。また祖母にとっても息子が先立ったことの悲しみは、非常に深かったと思います。いつの日か医学の発展で同じような悲しみにあう家族がいなくなることを切に願い、祖母の遺産をガン研究や患者とその家族のサポートに活用いただけるのであれば、祖母も父も喜んでくれると思い、迷わず遺産すべてを基金という形で寄付しました。

これまで財団を通じて支援が必要と手を挙げられている方とのマッチングをきめ細かく行っていたいただいており、満足しております。これからも金額の大小に関係なく、支援を必要とされている方々にきめ細かくマッチングを続けていただければと思います。

木所 淳

「社会福祉の増進」

※14 大内典明・恵子こども基金（2015年度設置）

私は、江田直介さんが大阪コミュニティ財団に基金を設置されているという新聞記事を見て、財団のことを知りました。かねてから、子供達が自分の望み通りの教育を受けて能力を發揮してくれれば、それが社会の役に立つことにつながると思っていましたので、貧困等で学習の場が奪われていることを知るにつけ、少しでも役に立てればと思って基金を設置させて頂きました。助成先からの報告書を見せて頂いて、子供達の為に尽力されている方々の多いことに頭が下がる思いがします。今後は、企業の基金設置数を増やす方法や個人にはより広く財団のことを周知されますことを期待しています。

大内 恵子

「動物の保護・訓練、支援活動」

※15 谷口公代動物基金（2016年度設置）

現在、環境・動物・奨学金と基金設置をさせて頂いて約5年になります。学業優秀にも拘らず、厳しい生活状況にある大学進学生への支援。又動物には大変愛情深く、30年前からネット検索をしては、現地に出向き物資や寄付金の支援活動をして参りました。しかし善意が反映されない事も多く個人活動に限界を感じていた所、親交のある司法書士に相談した結果、即座に、財団の存在と照会を勧められました。申請書類審査の上助成先の選考。後に助成先からの近況レポートを頂く等、基金入出についての会計報告も適確に提示され行き届いたシステムに大いに安堵しております。コミュニティ財団に委任して本当に良かったと思っています。親族に縁の薄い私にとって、この様な社会貢献に役立っている事は、大変喜びとなっております。

谷口 公代

※16 石黒美代子・まさみ青少年育成基金、石黒美代子・まさみ芸術文化基金（2017年度設置）

2010年7月の日本経済新聞に掲載されていた江田直介氏の「寄付社会をつくる」という記事を目にし、その考え方に深く共鳴しました。その記事には大阪コミュニティ財団の活動についても紹介されていました。

私の姉（石黒美代子）と姪（石黒まさみ）も生前、当財団の活動について賛同していましたので、姉、姪の遺産を社会に生かせないかと思い、2人の名前をつけた基金を作りました。2人もきっと天国で喜んでいるかと思っています。

助成した団体の活動報告書により、2人の基金がどのように役立っているかがよくわかります。私は、近江商人の『三方よし』を見習い『自分よし、周りよし、社会によし』という考えをもっていますが、寄付者の志と社会活動をされる方の想いを結んでいただいていることを実感しています。

少子高齢化社会の現在、今後は寄付希望者が増えてくるかと思っています。その想いを受け止め、助成希望者との間を取り結んでいただく同財団の役割は、ますます大きくなるかと思っています。大阪コミュニティ財団の活動に期待しています。

石黒 孝芳